

事業年度	令和7年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-6

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（I期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書



工事番号	小大工-6	工事箇所	可児市 大森 地内	施設名	旭小学校
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（I期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は旭小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式  ・躯体改修工事  ・防水改修工事  ・建具改修工事  ・内装改修工事  ・塗装改修工事  ・外構改修工事</p> <p>電気設備工事 一式  ・電灯設備工事  ・コンセント設備工事  ・弱電設備工事</p> <p>機械設備工事 一式  ・換気設備工事  ・衛生器具設備工事  ・給水設備工事  ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて  本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm<sup>2</sup>以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm<sup>2</sup>以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について  本工事に於いて、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。  「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について  
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について  
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。  
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
  1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
  2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
  3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
  4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
  5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について  
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保  
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について  
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。  
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について  
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。  
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。  
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。  
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他  
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。  
(2) 工事共通仕様  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（I期）

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議（文化財課）	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 ( 含有有り ) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( 登下校時間帯 )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線（運行者との協議）	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 学校敷地内及び学校周囲通行時徐行 )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路（搬入路）の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷均、締固等 ) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 ( 押土 ) 必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷き均し、転圧 ) あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり ( 運搬距離 km ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 ( マニフェスト ) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり ( 電気 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり ( 電話 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり ( 水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり ( 下水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり ( ガス )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり ( マンホール蓋、仕切り弁蓋等 )	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり ( その他 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 ( 30% 再生 ) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 ( 100% 再生 ) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 営繕費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 ( ) <input type="checkbox"/> B. 時期 ( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事(Ⅰ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費	計	1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費	計					
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価	計					
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格	計					
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
(1-1)	南舎	一般便所	1.0	式			
(2-1)	特別教室棟	一般便所	1.0	式			
(2-2)		多目的トイレ	1.0	式			
		合計					
(3-1)	屋外便所 一般便所	一般便所	1.0	式			
(4)	発生材処分	電気・機械含む	1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事						
(1-1)	南舎(一般便所)						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	躯体改修工事		1.0	式			
3	防水改修工事		1.0	式			
4	建具改修工事		1.0	式			
5	内装改修工事		1.0	式			
6	塗装改修工事		1.0	式			
7	外構改修工事		1.0	式			
8	撤去工事		1.0	式			
9	発生材積込・運搬		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	70.3	m <sup>2</sup>			
	養生	仕上	70.3	m <sup>2</sup>			
	整理清掃後片付け		81.8	m <sup>2</sup>			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1カ月	70.3	m <sup>2</sup>			
	仮設間仕切り	A種 H=2.9	19.3	m			
	仮設片開きフラッシュ戸	ラワン合板 900×2000	3.0	箇所			
	外部足場	くさび緊結式(手摺先行) W900 高さ20m未満 存置6カ月	19.0	m <sup>2</sup>			
	垂直養生	防災養生シート張り 存置3カ月	19.0	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業		1.0	式			
2.2	鉄筋		1.0	式			
2.3	コンクリート		1.0	式			
2.4	型枠		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業						
	砂地業	土間下 t=30	1.0	m3			
	碎石地業	土間下 t=100 再生材	3.4	m3			
	防湿シート	土間下 ポリエチレンフィルムt=0.15	33.9	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D10(小口)	0.16	t			
	異形鉄筋	SD295A D13(小口)	0.04	t			
	鉄筋加工組立		0.20	t			
	鉄筋運搬費		0.20	t			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD10 横向打	173	箇所			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD13 横向打	53	箇所			
	溶接金網	φ 6 100×100	20.5	m <sup>2</sup>			
	スクラップ控除	へビーH2	0.003	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc=21N+3 S=18	4.3	m3			
	嵩上げコンクリート	Fc=21N+3 S=18	1.0	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	4.3	m3			
	コンクリート打設手間	嵩上げコン ポンプ打ち	1.0	m3			
	ポンプ圧送		2.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2.4	型枠						
	普通合板型枠	地上軸部	1.9	m <sup>2</sup>			
	型枠運搬費		1.9	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	110.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	南SD-1 鋼製点検口	W600×H2450	2.0	箇所			
	南AW-1 アルミ製引き違い窓+FIX窓	カバー工法 W1220×H1150(建具シーリング共)	1.0	箇所			
	南AW-2 アルミ製引き違い窓+FIX窓	網戸のみ W1220×H1150	1.0	箇所			
	南AW-3 アルミ製引き違い窓+FIX窓	カバー工法 W960×H950(建具シーリング共)	2.0	箇所			
	南WD-1 木製片引きハンガーフラッシュ戸	W800×H1900	1.0	箇所			
	南WD-2 木製片引きフラッシュ戸	W700×H1900	4.0	箇所			
	複層ガラス	FL3+A6+FL3	1.2	m <sup>2</sup>			
	型板ガラス	t=4	0.3	m <sup>2</sup>			
	ガラス周囲シーリング	SR-1 5×5	26.5	m			
	ガラス清掃	両面	1.5	m <sup>2</sup>			
	飛散防止フィルム貼	片面	1.4	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修工事						
5.1	床		1.0	式			
5.2	巾木・壁		1.0	式			
5.3	天井		1.0	式			
5.4	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	床下地補修	塩ビシート貼替部	9.5	m <sup>2</sup>			
	コンクリート均し	金鋺 張物下地	35.3	m <sup>2</sup>			
	塩ビ床シート	t=2 消臭・抗菌性	40.6	m <sup>2</sup>			
	汚垂石	t=7	4.2	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	115	m <sup>2</sup>			
	不燃メラミン化粧板	t=3 ONタイル工法	65.3	m <sup>2</sup>			
	不燃メラミン化粧板	t=3 モルタル下地	11.2	m <sup>2</sup>			
	耐水せっこうボード	準不燃 t=12.5 突き付け工法	117	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	52.0	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	90型 @300	2.2	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	100型 @300	25.6	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	65型 三方枠	7.0	箇所			
	SUS巾木	H60	103	m			
	グラスウール断熱材敷込み	t50 24kg/m3	55.8	m <sup>2</sup>			
	モルタル補修	タイル浮き部	3.0	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @300	62.6	m <sup>2</sup>			
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	62.6	m <sup>2</sup>			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	120	m			
	天井点検口	450×450 アルミ額縁	4.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	450×450	10.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	南TB-1 トイレブース	W600×H2100	1.0	箇所			
	南TB-2 トイレブース	W2830×H1900	2.0	箇所			
	南TB-3 トイレブース	W1710×H1900	2.0	箇所			
	南TB-4 トイレブース	W600×H1900	2.0	箇所			
	南TB-5 トイレブース	W1500×H1900	2.0	箇所			
	SUS三方枠	W1150×H2000×D150 t=25	1.0	箇所			
	SUS三方枠	W900×H2000×D170 t=25	1.0	箇所			
	壁・サッシ取合い金物	H=2890	2.0	箇所			
	硬質ウレタンフォーム断熱材	壁サッシ取合い部	1.0	式			
	南WD-1 木製建具枠	ゴム集成材 t=25・60 W1650×H1900	1.0	箇所			
	南WD-2 木製建具枠	ゴム集成材 t=25 W700×H1900	4.0	箇所			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W120	10.8	m			
	掃除道具掛け下地	ゴム集成材 W600×H100 t=20	4.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	女子便所 棚板	メラミン化粧板 W750×D250 t=20 ステンレス棚受(2ヶ所)共	2.0	箇所			
	男子便所 棚板	メラミン化粧板 W860×D250 t=20 ステンレス棚受(2ヶ所)共	2.0	箇所			
	ピクトサイン1・2 平付	200×200 アルミ製ブラケット	6.0	箇所			
	耐食鏡	t5×W1250×H600 SUS 二方枠	4.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	壁 NAD塗り	RB種 モルタル下地面 下地調整共	50.9	m <sup>2</sup>			
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	62.6	m <sup>2</sup>			
	窓枠 SOP塗り	RB種 木部B種 下地調整共	13.2	m			
	掃除用具掛け・建具枠 SOP塗り	糸幅300以下 木部B種 素地ごしらえ共	24.9	m			
	壁・サッシ取り合い SOP塗り	鉄部	0.2	m <sup>2</sup>			
	SD SOP塗り	鋼製建具面 B種(枠共)	8.5	m <sup>2</sup>			
	SD 錆止め塗り	鉄製建具面 A種(枠共)	8.5	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	外構改修						
	透水性アスファルト舗装	表層:t50 透水性アスファルト混合物 路盤:t150 再生砕石(RC-40)	7.2	m <sup>2</sup>			
	縁石	150×150(基礎共)	7.6	m			
	モルタル補修	足洗場取り合い	2.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	撤去工事						
8.1	床 撤去		1.0	式			
8.2	巾木・壁 撤去		1.0	式			
8.3	天井 撤去		1.0	式			
8.4	その他 撤去		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.0	11.4	m2			
	ビニル床シート撤去	t=2.0 Mコテ共	12.4	m2			
	タイル撤去	50角	20.0	m2			
	タイル撤去	50角 Mコテ共	20.0	m2			
	土間コンクリート撤去	t=120	5.0	m3			
	砕石撤去	t=130	4.7	m3			
	コンクリートカッター入れ		44.4	m			
	テラゾブロック框撤去	W50xH50	5.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.2	巾木・壁 撤去						
	ソフト巾木撤去	H60	16.3	m			
	木製巾木撤去	H60	13.8	m			
	RC壁撤去	t=120	2.6	m2			
	コンクリートカッター入れ		12.0	m			
	50角タイル撤去	Mコテ共	12.3	m2			
	CB撤去	t=100	12.1	m2			
	LGS65撤去	@300	11.4	m2			
	FK(VP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	23.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.3	天井 撤去						
	FK(EP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	63.8	m2			
	LGS19撤去	@300	49.6	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.4	その他 撤去						
	テラゾブロック面台撤去	D120	11.0	m			
	SD 片開戸撤去	550x1815	1.0	箇所			
	トイレブース撤去	t=40	72.7	m2			
	木製面台撤去	t=20	0.2	m2			
	アスファルト舗装撤去	t=50 砕石 t=150共	7.2	m2			
	縁石撤去	150×150	7.6	m			
	足洗場撤去	コンクリート製	0.5	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	2.6	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	7.9	m3			
	積込・運搬	アスファルト混合物	0.4	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.0	m3			
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	0.5	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.5	m3			
	積込・運搬	混合材	3.0	m3			
	積込・運搬	木くず	0.1	m3			
	積込・運搬	アルミくず	0.03	t			
	積込・運搬	スチールくず	0.6	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事						
(2-1)	特別教室棟(一般便所)						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	躯体改修工事		1.0	式			
3	防水改修工事		1.0	式			
4	建具改修工事		1.0	式			
5	内装改修工事		1.0	式			
6	塗装改修工事		1.0	式			
7	外構改修工事		1.0	式			
8	撤去工事		1.0	式			
9	発生材積込・運搬		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	62.1	m <sup>2</sup>			
	養生	仕上	62.1	m <sup>2</sup>			
	整理清掃後片付け		76.9	m <sup>2</sup>			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1カ月	62.1	m <sup>2</sup>			
	仮設間仕切り	A種 H=2.5	19.0	m			
	仮設片開きフラッシュ戸	ラワン合板 900×2000	3.0	箇所			
	外部足場	くさび緊結式 W900 高さ20m未満 存置3カ月	19.0	m <sup>2</sup>			
	垂直養生	防災養生シート張り 存置3カ月	19.0	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	鉄筋		1.0	式			
2.2	コンクリート		1.0	式			
2.3	型枠		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D13(小口)	0.08	t			
	鉄筋加工組立		0.08	t			
	鉄筋運搬費		0.08	t			
	あと施工アンカー(接着系)	差し筋アンカーD13 横向打	216	箇所			
	溶接金網	φ6 100x100	49.4	m <sup>2</sup>			
	スクラップ控除	へビーH2	0.01	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc=21+3N S=18	0.3	m3			
	嵩上げコンクリート	Fc=21+3N S=18	2.5	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	0.3	m3			
	コンクリート打設手間	嵩上げコン ポンプ打ち	1.2	m3			
	ポンプ圧送		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2.3	型枠						
	普通合板型枠	地上部	3.4	m <sup>2</sup>			
	型枠運搬費		3.4	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	193.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	特SD-1 鋼製点検口	W600×H1960	2.0	箇所			
	既設建具調整		2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修工事						
5.1	床		1.0	式			
5.2	巾木・壁		1.0	式			
5.3	天井		1.0	式			
5.4	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	床下地補修	塩ビシート貼替部	5.6	m <sup>2</sup>			
	コンクリート均し	金鏝 張物下地	48.2	m <sup>2</sup>			
	塩ビ床シート	t=2 消臭・抗菌性	51.4	m <sup>2</sup>			
	汚垂石	t=7	2.4	m <sup>2</sup>			
	床下点検口	600×600 SUS目地枠	4.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ボード下地	10.5	m2			
	不燃メラミン化粧板	t=3 ONタイル工法	132	m2			
	耐水せっこうボード	準不燃 t=12.5 突き付け工法	16.7	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	65型 @300	9.7	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り壁下地	90型 @300	10.4	m <sup>2</sup>			
	軽量鉄骨間仕切り開口補強	65型 三方枠	2.0	箇所			
	SUS巾木	H100	63.2	m			
	モルタル補修	タイル浮き部・手洗い穴埋	4.2	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @300	66.5	m <sup>2</sup>			
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	58.6	m <sup>2</sup>			
	化粧せっこうボード	t9.5 LGS面	7.9	m <sup>2</sup>			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	107	m			
	天井点検口	450×450 アルミ額縁	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井開口補強	450×450	6.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	特TB-1 トイレブース	W1600×H1900	2.0	箇所			
	特TB-2 トイレブース	W1335×H1900	2.0	箇所			
	特TB-3 トイレブース	W915×H1900	2.0	箇所			
	特TB-4 トイレブース	W1110×H1900	2.0	箇所			
	特TB-5 トイレブース	W3350×H1900	2.0	箇所			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W120	8.4	m			
	ライニング面台	メラミンポストフォーム t=20 W300 L5700	1.0	箇所			
	掃除道具掛け下地	ゴム集成材 W600×H100 t=20	4.0	箇所			
	ピクトサイン1・2 突出	200×200 アルミ製ブラケット	4.0	箇所			
	ピクトサイン1・2 突出	200×200 SUS製ブラケット	2.0	箇所			
	耐食鏡	t5×W900×H600 SUS 三方枠	4.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	壁 NAD塗り	RB種 モルタル下地面 下地調整共	38.6	m <sup>2</sup>			
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	49.9	m <sup>2</sup>			
	木製巾木・腰壁笠木 SOP塗り	RB種 木部B種 下地調整共	9.7	m			
	掃除用具掛け SOP塗り	糸幅300以下 木部B種 素地ごしらえ共	2.4	m			
	SD SOP塗り	鋼製建具面 B種(枠共)	6.8	m <sup>2</sup>			
	SD 錆止め塗り	鉄製建具面 A種(枠共)	6.8	m <sup>2</sup>			
	腰壁笠木 UC塗り	RB種 木部B種 下地調整共	5.7	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	外構改修工事						
	透水性アスファルト舗装	表層:t50 透水性アスファルト混合物 路盤:t150 再生砕石(RC-40)	2.4	m <sup>2</sup>			
	室外機フェンス 取外し・再取付		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	撤去工事						
8.1	床 撤去		1.0	式			
8.2	巾木・壁 撤去		1.0	式			
8.3	天井 撤去		1.0	式			
8.4	その他 撤去		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.1	床 撤去						
	ビニル床シート撤去	t=2.0	7.8	m2			
	タイル撤去	50角	48.3	m2			
	土間コンクリート撤去撤去	t=150	0.4	m3			
	コンクリートカッター入れ		16.8	m			
	SUS框撤去	W40xH50	3.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.2	巾木・壁 撤去						
	木製巾木撤去	H60	5.6	m			
	コンクリートブロック撤去	t=100	18.9	m2			
	50角タイル撤去	Mコテ共	20.8	m2			
	FK(VP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	23.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.3	天井 撤去						
	FK(EP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	49.9	m2			
	GB-D撤去	t=9.5	7.9	m2			
	LGS19撤去	@300	57.9	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.4	その他 撤去						
	SUS面台撤去	D100	5.3	m			
	SUS面台撤去	D375	6.5	m			
	SD 片開戸撤去	W600xH1960	2.0	箇所			
	SUS手洗い撤去	W920xD400xH650	4.0	箇所			
	トイレブース撤去	t=40	46.1	m2			
	アスファルト舗装撤去	t=50 砕石 t=150共	2.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	2.7	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	0.7	m3			
	積込・運搬	アスファルト混合物	0.1	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック類	0.0	m3			
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	0.7	m3			
	積込・運搬	ボード類	0.1	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.4	m3			
	積込・運搬	混合材	2.0	m3			
	積込・運搬	木くず	0.003	m3			
	積込・運搬	ステンレスくず	0.0	t			
	積込・運搬	スチールくず	0.2	t			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	9.7	m <sup>2</sup>			
	養生	仕上	9.7	m			
	整理清掃後片付け		9.7	m <sup>2</sup>			
	内部仕上足場	脚立足場 並列 階高4m以下 存置1ヵ月	9.7	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10×10	41.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	内装改修工事						
3.1	床		1.0	式			
3.2	巾木・壁		1.0	式			
3.3	天井		1.0	式			
3.4	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.1	床						
	床下地補修	塩ビシート貼替部	9.4	m <sup>2</sup>			
	塩ビ床シート	t=2 消臭・抗菌性	9.4	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	t=3 ONタイル工法	35.1	m2			
	SUS巾木	H100	14.5	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.3	天井						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @300	4.6	m <sup>2</sup>			
	けい酸カルシウム板	t6.0 ベベルエッジ 突付け	9.4	m <sup>2</sup>			
	廻り縁	塩ビ製 コの字型	17.3	m			
	軽量鉄骨天井開口補強	300×1200	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.4	その他						
	ピクトサイン3 突出	200×200 アルミ製ブラケット	1.0	箇所			
	建具調整		3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	塗装改修工事						
	天井 NAD塗り	ケイカル下地面 素地ごしらえ共	9.4	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	撤去工事						
5.1	床 撤去		1.0	式			
5.2	天井 撤去		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床 撤去						
	50角タイル撤去		9.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	天井 撤去						
	FK(EP塗)撤去	t=6.0 アスベスト含有	8.7	m <sup>2</sup>			
	LGS19撤去	@300	4.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	0.1	m3			
	積込・運搬	ボード類(アスベスト含有)	0.1	m3			
	積込・運搬	スチールくず	0.02	t			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	8.7	m <sup>2</sup>			
	養生	仕上	8.7	m <sup>2</sup>			
	整理清掃後片付け		9.5	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業		1.0	式			
2.2	鉄筋		1.0	式			
2.3	コンクリート		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業						
	砂地業	土間下 t=30	0.1	m3			
	碎石地業	土間下 t=100 再生材	0.6	m3			
	防湿シート	土間下 ポリエチレンフィルムt=0.15	0.6	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295A D10(小口)	0.05	t			
	鉄筋加工組立		0.05	t			
	鉄筋運搬費		0.05	t			
	あと施工アンカー	差し筋アンカーD10 横向打	55.0	箇所			
	スクラップ控除	ヘビーH2	0.001	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート						
	土間スラブ 普通コンクリート	Fc=21+3N S=18	0.7	m3			
	コンクリート打設手間	土間スラブコン ポンプ打ち	0.7	m3			
	ポンプ圧送		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	内装改修工事						
	床磁器質タイル	50角	8.7	m2			
	外TB-1 トイレブース	W3370×H1900	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	撤去工事						
5.1	床 撤去		1.0	式			
5.2	その他 撤去		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床 撤去						
	50角タイル撤去	Mコテ共	8.7	m2			
	土間コンクリート撤去	t=120	0.7	m2			
	砕石撤去	t=100	0.9	m3			
	コンクリートカッター入れ		7.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	その他 撤去						
	トイレブース撤去	t=40	8.2	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材積込・運搬						
	積込・運搬	コンクリートがら(有筋)	0.7	m3			
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	1.1	m3			
	積込・運搬	陶磁器・ガラスくず	0.10	m3			
	積込・運搬	混合材	0.3	m3			
	積込・運搬	スチールくず	0.02	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	発生材処分						
	発生材処分	コンクリートがら(有筋)	6.0	m3			
	発生材処分	コンクリートがら(無筋)	9.7	m3			
	発生材処分	アスファルト混合物	0.5	m3			
	発生材処分	廃プラスチック類	1.7	m3			
	発生材処分	陶磁器・ガラスくず	11.1	m3			
	発生材処分	ボード類	0.1	m3			
	発生材処分	ボード類(アスベスト含有)	1.0	m3			
	発生材処分	木くず	0.1	m3			
	発生材処分	混合材	12.0	m3			
	発生材処分	ステンレスくず	0.01	t			
	発生材処分	アルミくず	0.03	t			
	発生材処分	スチールくず	3.98	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(1-1)	南舎	一般便所	1.0	式			
(2-1)	特別教室	一般便所	1.0	式			
(2-2)		多目的トイレ	1.0	式			
	合計						
(3-1)	屋外便所 一般便所	一般便所	1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(1-1)	南舎(一般便所)						
1	電灯(幹線)設備		1.0	式			
2	電灯(照明)設備		1.0	式			
3	電灯(コンセント)設備		1.0	式			
4	弱電設備		1.0	式			
5	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(幹線)設備						
	ケーブル	EM-CE5.5sq-3c 管内	28.0	m			
	電灯分電盤	L-1	1.0	面			
	電灯分電盤	L-2	1.0	面			
	開閉器増設	ELCB3P50/30	2.0	ヶ			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(照明)設備						
	電線管	(PF16) 隠蔽	2.0	m			
	メタルモール	A型	6.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	4.0	個			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	4.0	個			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	108.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	8.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	63.0	個			
	照明器具 A	LEDベースライト 3200lm	8.0	個			
	照明器具 E	LEDダウンライト φ100	13.0	個			
	照明器具 F	LEDダウンライト φ100	15.0	個			
	センサー切替スイッチ		6.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機	6.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機 換気連動	6.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機	6.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	19.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去 照明器具 e401	FL40×1 直付	6.0	個			
	撤去 照明器具 l201	ブラケット	2.0	個			
	撤去 照明器具 m201	ダウンライト	1.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×1	4.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×2	4.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A×1	2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	電灯(コンセント)設備						
	電線管	(PF22) 隠蔽	63.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	31.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	63.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	89.0	m			
	コンセント 2P15A×1	E極・接地端子付	29.0	個			
	開閉器増設	ELCB2P50/20	1.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	4.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×2	1.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E極・接地端子付	3.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	弱電設備						
	ケーブル	EM-AE1.2-2c 隠蔽	10.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	6.0	個			
	天井埋込スピーカー	ATT付	4.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	2.0	個			
	撤去 天井埋込スピーカー		2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	混合	0.1	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(2-1)	特別教室棟(一般便所)						
1	電灯(幹線)設備		1.0	式			
2	電灯(照明)設備		1.0	式			
3	電灯(コンセント)設備		1.0	式			
4	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(幹線)設備						
	ケーブル	EM-CE5.5sq-3c 管内	32.0	m			
	電灯分電盤	L-1-1	1.0	面			
	電灯分電盤	L-1-2	1.0	面			
	開閉器増設	ELCB3P50/30	2.0	ヶ			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(照明)設備						
	電線管	(PF16) 隠蔽	10.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	76.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	4.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	40.0	個			
	照明器具 A	LEDベースライト 3200lm	8.0	個			
	照明器具 E	LEDダウンライト φ100	6.0	個			
	照明器具 F	LEDダウンライト φ100	6.0	個			
	センサー切替スイッチ		4.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機	4.0	個			
	天井埋込人感センサー	子機	8.0	個			
	コンセント	2P15A×1	4.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	24.0	個			
	撤去 照明器具 f401	埋込40型	6.0	個			
	撤去 照明器具 g201	埋込20型	2.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去 照明器具 h201	直付ブラケット20型	4.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×1	4.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×2	4.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A×1	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	電灯(コンセント)設備						
	電線管	(PF22) 隠蔽	29.0	m			
	メタルモール	A型	15.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	6.0	個			
	メタルモール	A型 1個用スイッチボックス	6.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	15.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	44.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	30.0	m			
	コンセント 2P15A×1	E極・接地端子付	16.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	2.0	個			
	撤去 コンセント 2P15A ×1	E極・接地端子付	2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	混合	0.1	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(2-2)	特別教室棟(多目的トイレ)						
1	電灯(照明)設備		1.0	式			
2	電灯(コンセント)設備		1.0	式			
3	弱電設備		1.0	式			
4	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(照明)設備						
	電線管	(PF16) 隠蔽	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C 隠蔽	6.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 管内	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C 隠蔽	3.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	6.0	個			
	照明器具 D	LEDベースライト 2940lm	2.0	個			
	センサー切替スイッチ		2.0	個			
	天井埋込人感センサー	親機 換気連動	2.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	4.0	個			
	撤去 照明器具	g201 埋込20型	2.0	個			
	撤去 スイッチ	1P15A×1	2.0	個			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯(コンセント)設備						
	メタルモール	A型	10.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	4.0	個			
	メタルモール	A型 1個用スイッチボックス	4.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 管内	10.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	13.0	m			
	コンセント 2P15A×1	E極・接地端子付	4.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	2.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E極・接地端子付	2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	弱電設備						
	アウレットボックス	中型四角浅型 44×102	6.0	個			
	トイレ呼出押釦		2.0	個			
	トイレ呼出復旧押釦		2.0	個			
	代表廊下灯		2.0	個			
	撤去 アウレットボックス	44×102	2.0	個			
	撤去 トイレ呼出押釦		2.0	個			
	撤去 トイレ呼出復旧押釦		2.0	個			
	撤去 代表廊下灯		2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	混合	0.03	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(3-1)	屋外トイレ(一般便所)						
1	電灯(コンセント)設備		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯(コンセント)設備	電灯(コンセント)設備					
	メタルモール	A型	6.0	m			
	メタルモール	A型 コーナーボックス	2.0	個			
	メタルモール	A型 スイッチボックス	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角浅型 44×102	2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C PF管内	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C 隠蔽	1.0	m			
	コンセント	2P15A×1 E極・接地端子付	2.0	個			
	撤去 アウトレットボックス	44×102	2.0	個			
	撤去 コンセント	2P15A ×1 E極・接地端子付	2.0	個			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M	機械設備工事						
(1-1)	南舎	一般便所	1.0	式			
(2-1)	特別教室棟	一般便所	1.0	式			
(2-2)		多目的トイレ	1.0	式			
	合計						
(3-1)	屋外便所 一般便所	一般便所	1.0	式			
	計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2 天井換気扇	低騒音形 100φ×200m <sup>3</sup> /h×80Pa	2.0	台			
	FV-5 天井換気扇	低騒音形 150φ×400m <sup>3</sup> /h×80Pa	4.0	台			
	VC ベントキャップ	ステンレス製深形フード 150φ	4.0	個			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 100φ	3.0	m			
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 150φ	15.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	8.0	組			
	C-2 大便器2	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	3.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	8.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	10.0	組			
	SK-2 多目的流し	13mmレバー式横水栓	4.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	6.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	2.0	組			
	M-1 化粧鏡	350×800	2.0	枚			
	衛生器具据付費	再取付品を含む	1.0	式			別紙明細 NO.5
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-FVB 80A	1.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-FVB 100A	1.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 20A	15.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 25A	9.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 32A	3.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 40A	6.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 50A	4.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVB 65A	6.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVB 80A	5.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	25.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	13.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 32A	4.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 40A	11.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 50A	1.0	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVD 65A	1.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	地中配管 SGP-VD 20A	4.0	m			
給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	地中配管 SGP-VD 40A	1.0	m			
弁類	仕切弁 GV(コア) 40A	1.0	個			
弁類	仕切弁 GV(コア) 50A	1.0	個			
弁類	バタフライ弁 BV 65A	1.0	個			
弁類	バタフライ弁 BV 80A	1.0	個			
弁類	バタフライ弁 BV 100A	1.0	個			
弁柵	VC-2	1.0	組			
保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.8
斫り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.10
土工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.12
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	3.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	8.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	10.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	20.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 125A	8.0	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	6.0	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	10.0	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	7.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	3.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	11.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	1.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	3.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 125A	5.0	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 50A	3.0	m			
	— 次項へ続く —						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 75A	5.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	6.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	7.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	6.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	18.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 125A	2.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	5.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	6.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	8.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	7.0	m			
	排水金物	COA 50A	2.0	個			
	排水金物	COA 80A	1.0	個			
	排水金物	COA 100A	7.0	個			
	排水金物	COA 125A	2.0	個			
	通気金物	VC 100A	1.0	個			
	あと施工アンカー		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.14
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.15
	土工事		1.0	式			別紙明細 NO.16
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.17
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	金属くず	0.8	ton			
	積込・運搬費	廃プラスチック	0.6	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	保温材	0.3	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	陶器類	4.4	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	混合類	0.6	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FW-1 一般換気扇	300φ×1,000m <sup>3</sup> /h	4.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	6.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	4.0	組			
	L-3 手洗器	壁掛形 自動単水栓 水石けん入	2.0	組			
	SK-1 掃除流し	20mm送り座付横水栓	4.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	4.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	F-1 自動水栓	壁付 単水栓	8.0	個			
	水石けん入れ	壁付 0.35L	4.0	個			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 20A	31.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 25A	17.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 32A	6.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 40A	15.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 50A	6.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVB 65A	8.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVB 80A	5.0	m			
	弁類	仕切弁 GV(コア) 40A	1.0	個			
	弁類	バタフライ弁 BV 65A	2.0	個			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.5
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.6
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.8
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.9

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	3.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	6.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	2.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	4.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	25.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	12.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	1.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	4.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	8.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	3.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	6.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	19.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	14.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	1.0	m			
	— 次項へ続く —						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	8.0	m			
污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	5.0	m			
排水金物	COA 100A	6.0	個			
排水金物	T14A 50A	2.0	個			
あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.10
研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.12
土工事		1.0	式			別紙明細 NO.13
撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.14
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	金属くず	0.7	ton			
	積込・運搬費	廃プラスチック	0.4	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	保温材	0.5	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	陶器類	3.0	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	混合類	0.7	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
M	機械設備工事						
(2-2)	特別教室棟(多目的トイレ)						
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	発生材積込・運搬		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-1 天井換気扇	低騒音形 100φ×150m <sup>3</sup> /h×80Pa	1.0	台			
	FP-1 パイプファン	低騒音形 200φ×150m <sup>3</sup> /h×15Pa	1.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 100φ	2.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.3
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	2.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	2.0	組			
	TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	TR-4 P形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	BR-1 背もたれ		2.0	組			
	M-2 化粧鏡	360×1100	2.0	枚			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.5
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 20A	8.0	m			
	保温工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.8
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.9
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.11
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	2.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	1.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	2.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	1.0	m			
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細 NO.12
	研り工事		1.0	式			別紙明細 NO.13
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.14
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	金属くず	0.03	ton			
	積込・運搬費	廃プラスチック	0.01	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	保温材	0.03	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	陶器類	0.20	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	混合類	0.30	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	C-4 大便器4	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 普通便座 紙巻器	2.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ	1.0	組			
	衛生器具据付費		1.0	式			別紙明細 NO.1
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.2
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 VLP-VD 20A	5.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 VLP-VD 25A	1.0	m			
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.3
	土工事		1.0	式			別紙明細 NO.4
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.5
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水通気設備						
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	2.0	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	3.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	2.0	m			
	排水金物	COA 100A	1.0	個			
	既設管接続費		1.0	式			別紙明細 NO.6
	土工事		1.0	式			別紙明細 NO.7
	撤去工事		1.0	式			別紙明細 NO.8
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	積込・運搬費	金属くず	0.02	ton			
	積込・運搬費	廃プラスチック	0.01	m <sup>3</sup>			
	積込・運搬費	陶器類	0.30	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	機器据付費						別紙明細 NO.1
	天井埋込換気扇		6.0	台			
	ヘントキャップ	100φ	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温工事						別紙明細 NO.2
	ガラスウール	スパイラルダクト 25t	2.5	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.3
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	15.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.4
	天井埋込換気扇		2.0	台			
	壁換気扇	300φ	2.0	台			
	スパイラルダクト	100φ	3.2	m			
	ガラスウール	スパイラルダクト 25t	0.6	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	衛生器具据付費						別紙明細 NO.5
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	8.0	組			
	C-2 大便器2	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	3.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	8.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	10.0	組			
	SK-2 多目的流し	13mmレバー式横水栓	4.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	6.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	M-1 化粧鏡	350×800	2.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.6
	洋風便器	洗浄弁式	4.0	組			
	洋風便器	ロータンク式	3.0	組			
	和風便器	洗浄弁式	9.0	組			
	小便器	床排水形	10.0	組			
	小便器	壁掛低リップ形	2.0	組			
	洗面器		4.0	組			
	手洗器		1.0	組			
	掃除流し		2.0	組			
	化粧棚		2.0	組			
	化粧鏡	350×450	6.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温工事						別紙明細 NO.7
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	14.5	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	8.6	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 32A	2.6	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	6.3	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	4.0	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	5.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	4.5	m			
	グラスウール	給水管 屋外露出 ステンレス鋼板 80A	1.2	m			
	グラスウール	給水管 屋外露出 ステンレス鋼板 100A	1.3	m			
	グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			
	グラスウール	弁類 屋外露出 ステンレス鋼板 80A	1.0	個			
	グラスウール	弁類 屋外露出 ステンレス鋼板 100A	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.8
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	8.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.9
	機械研り	貫通口径 75mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	12.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.10
	配管工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.30	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.02	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 32A 2箇所	0.72	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 32A 2箇所	0.06	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 40A 1箇所	0.41	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 40A 1箇所	0.03	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 80A 3箇所	2.55	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 80A 3箇所	0.12	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 100A 2箇所	1.98	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 100A 2箇所	0.10	人			
	配管工	鋼管類 40A 1箇所	0.41	人			
	その他		0.20	乗率			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						別紙明細 NO.11
	根切り	人力	6.55	m <sup>3</sup>			
	山砂		3.27	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	3.28	m <sup>3</sup>			
	残土処分	人力	3.27	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.12
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-FVA 80A	1.2	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-FVA 100A	1.3	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	13.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	12.1	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 32A	1.9	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 40A	2.9	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	5.6	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 65A	5.9	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 80A	4.5	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	21.3	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	19.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 32A	4.6	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 40A	5.2	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 50A	1.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVD 65A	2.5	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	地中配管 SGP-VD 20A	3.6	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	地中配管 SGP-VD 40A	0.7	m			
	弁類	仕切弁 GV 65A	1.0	個			
	弁類	仕切弁 GV 80A	1.0	個			
	弁類	仕切弁 GV 100A	1.0	個			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	13.0	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	12.1	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 32A	1.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	2.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	5.6	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	5.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	4.5	m			
	グラスウール	給水管 屋外露出 ステンレス鋼板 80A	1.2	m			
	グラスウール	給水管 屋外露出 ステンレス鋼板 100A	1.3	m			
	グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	1.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ガラスウール	弁類 屋外露出 ステンレス鋼板 80A	1.0	個			
	ガラスウール	弁類 屋外露出 ステンレス鋼板 100A	1.0	個			
	根切り	人力	7.02	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	7.02	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.13
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	28.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.14
	機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	9.0	箇所			
	機械研り	貫通口径 125mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	1.0	箇所			
	機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	8.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.15
	配管工	樹脂類 50A 1箇所	0.13	人			
	配管工	樹脂類 75A 4箇所	0.68	人			
	配管工	樹脂類 100A 2箇所	0.36	人			
	配管工	樹脂類 125A 1箇所	0.22	人			
	その他		0.20	乗率			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						別紙明細 NO.16
	根切り	人力	27.45	m <sup>3</sup>			
	山砂		7.86	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	19.59	m <sup>3</sup>			
	残土処分	人力	7.86	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.17
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	6.3	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	11.5	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	12.5	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 125A	7.9	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	2.4	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	6.3	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	1.0	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	13.0	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	6.4	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	1.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	2.8	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 125A	4.8	m			
	雑排水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 75A	8.2	m			
	汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	2.4	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	4.9	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	1.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	21.5	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	9.2	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 FDP(VP) 125A	6.4	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	4.6	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	6.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	8.2	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	5.7	m			
	排水金物	COA 80A	4.0	個			
	排水金物	COA 100A	3.0	個			
	排水金物	COA 125A	1.0	個			
	排水金物	COB 80A	2.0	個			
	排水金物	COB 125A	2.0	個			
	排水金物	T5A 50A	6.0	個			
	排水金物	T5B 50A	2.0	個			



	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	機器据付費						別紙明細 NO.1
	一般換気扇	300φ	4.0	台			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.2
	一般換気扇	300φ	4.0	台			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	衛生器具据付費						別紙明細 NO.3
	C-1 大便器1	洗浄弁式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 暖房便座 紙巻器	6.0	組			
	U-1 小便器	壁掛式低リップ形 自動洗浄 1φ100V	4.0	組			
	L-3 手洗器	壁掛形 自動単水栓	4.0	組			
	SK-1 掃除流し	20mm送り座付横水栓	4.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	4.0	組			
	TR-3 小便器用手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	F-1 自動水栓	壁付 単水栓	8.0	個			
	水石けん入れ	壁付 0.35L	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.4
	洋風便器	洗浄弁式	2.0	組			
	和風便器	洗浄弁式	6.0	組			
	小便器	床排水形	6.0	組			
	手洗器		4.0	組			
	掃除流し		4.0	組			
	小便器用手すり		2.0	組			
	横水栓		8.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温工事						別紙明細 NO.5
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	12.3	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	9.8	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 32A	1.8	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	8.7	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	2.3	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	5.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	4.6	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	18.7	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	6.7	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 32A	3.7	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	6.7	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	3.6	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 65A	2.0	m			
	グラスウール	弁類 天井内・PS ポリスチレンフォームカバー 65A	2.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.6
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	19.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.7
	機械研り	貫通口径 75mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	22.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.8
	配管工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.30	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 20A 1箇所	0.02	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 40A 1箇所	0.41	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 40A 1箇所	0.03	人			
	配管工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.85	人			
	保温工	鋼管類 保温有り 80A 1箇所	0.04	人			
	その他		0.20	乗率			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.9
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	34.9	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	18.3	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 40A	17.3	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	9.0	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 65A	7.9	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-FVA 80A	4.6	m			
	弁類	仕切弁 GV 65A	2.0	個			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	14.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 25A	10.4	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 40A	8.0	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 50A	5.7	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 65A	5.9	m			
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 80A	4.6	m			
	グラスウール	給水管 ビット内 着色アルミガラスクロス 20A	20.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 25A	7.9	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 40A	9.1	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 50A	3.3	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 65A	2.0	m			
	グラスウール	弁類 天井内・PS ホリスチレンフォームカバー 65A	2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.10
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	58.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.11
	機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	10.0	箇所			
	機械研り	貫通口径 125mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	4.0	箇所			
	機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	12.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.12
	配管工	樹脂類 100A 4箇所	0.72	人			
	その他		0.20	乗率			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						別紙明細 NO.13
	根切り	人力	1.30	m <sup>3</sup>			
	山砂		0.37	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	0.93	m <sup>3</sup>			
	残土処分	人力	0.37	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.14
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	3.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	10.6	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	2.7	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	5.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	24.8	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	12.2	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	2.2	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	3.7	m			
	汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	11.7	m			
	汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	2.9	m			
	汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	7.2	m			
	汚水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	19.5	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 50A	14.7	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 65A	0.2	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 75A	8.0	m			
	通気管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	4.8	m			
	排水金物	COA 100A	4.0	個			
	排水金物	COB 100A	2.0	個			
	排水金物	T5A 50A	3.0	個			
	排水金物	T5B 50A	3.0	個			
	排水金物	T14A 50A	4.0	個			
	根切り	人力	1.30	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	1.30	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	機器据付費						別紙明細 NO.1
	天井埋込換気扇		1.0	台			
	パイプファン		1.0	台			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温工事						別紙明細 NO.2
	ガラスウール	スパイラルダクト 25t	0.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.4
	天井埋込換気扇		1.0	台			
	パイプファン		1.0	台			
	スパイラルダクト	100φ	1.6	m			
	ガラスウール	スパイラルダクト 25t	0.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	衛生器具据付費						別紙明細 NO.5
	C-5 大便器5	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 温水洗浄便座 紙巻器	2.0	組			
	L-2 洗面器	ハイバック形 自動単水栓	2.0	組			
	TR-2 はね上げ手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	TR-4 P形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	2.0	組			
	BR-1 背もたれ		2.0	組			
	M-2 化粧鏡	360×1100	2.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.6
	身障者用便器	洗浄弁式	2.0	組			
	洗面器	身障者用	2.0	組			
	はね上げ手すり		2.0	組			
	P形手すり		2.0	組			
	傾斜鏡		2.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	保温工事						別紙明細 NO.7
	グラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	4.1	m			
	グラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	4.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.8
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	1.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.9
	機械研り	貫通口径 75mm コンクリート厚さ 120mm~150mm	4.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.11
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	8.1	m			
	ガラスウール	給水管 天井内・PS アルミガラスクロス化粧保温筒 20A	4.1	m			
	ガラスウール	給水管 ピット内 着色アルミガラスクロス 20A	4.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	あと施工アンカー						別紙明細 NO.12
	あと施工アンカー	M-10 上向打ち	2.0	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事						別紙明細 NO.13
	機械研り	貫通口径 100mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	2.0	箇所			
	機械研り	貫通口径 150mm コンクリート厚さ 120mm～150mm	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.14
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	1.8	m			
	污水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	1.0	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 40A	1.6	m			
	污水管 耐火二層管	機械室・便所 FDP(VP) 100A	0.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	衛生器具据付費						別紙明細 NO.1
	C-4 大便器4	タンク式床置床排水節水Ⅱ形 掃除口付 普通便座 紙巻器	2.0	組			
	TR-1 L形手すり	ステンレス製 34φ 被覆樹脂タイプ°	1.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.2
	洋風便器	洗浄弁式	2.0	組			
	和風便器	洗浄弁式	1.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.3
	配管工	鋼管類 20A 1箇所	0.30	人			
	配管工	鋼管類 25A 1箇所	0.32	人			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						別紙明細 NO.4
	根切り	人力	0.61	m <sup>3</sup>			
	山砂		0.31	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	0.30	m <sup>3</sup>			
	残土処分	人力	0.31	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.5
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	6.2	m			
	給水管 硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	1.6	m			
	根切り	人力	0.81	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	0.81	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管接続費						別紙明細 NO.6
	配管工	樹脂類 50A 1箇所	0.13	人			
	配管工	樹脂類 100A 1箇所	0.18	人			
	その他		0.20	乗率			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工事						別紙明細 NO.7
	根切り	人力	1.58	m <sup>3</sup>			
	山砂		0.46	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	1.12	m <sup>3</sup>			
	残土処分	人力	0.46	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事						別紙明細 NO.8
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	1.0	m			
	汚水管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	5.5	m			
	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	0.6	m			
	排水金物	COA 100A	1.0	個			
	根切り	人力	1.52	m <sup>3</sup>			
	埋戻し	人力	1.52	m <sup>3</sup>			
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(積上げによる共通仮設費)						
仮囲い	成形鋼板 H=2.0	72.1	m			
クロスゲート	H=1.8 W=3.0	4.0	箇所			
交通誘導員	A種 6人程度	1.0	式			
仮設トイレ	水洗タイプ 2ヶ月 仮設配管共	3.0	棟			
SUS手洗い	基本料 全槽L600 蛇口1ヶ所	1.0	台			
	リース料	2.0	ヶ月			
仮設床組み		18.5	m <sup>2</sup>			
ラフタークレーン	25t オペレーター付き	3.0	日			
小計						
改め計						



Ⅱ 建築改修工事仕様		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																																								
<p><b>工事概要</b></p> <p>工事名称 可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事</p> <p>主要用途 小学校</p> <p>工事種別 改修</p> <p>敷地 可児市大森2078番地の3</p> <p>敷地面積 22,294㎡</p> <p>都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内(・市街化区域・市街化調整区域○その他) ・都市計画区域外</p> <p>用途地域 ( )</p> <p>防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ○指定なし</p> <p>その他の指定 ・22条指定区域内 ・22条指定区域外 ( )</p> <p>建築基準法 道路 ・国道 ・県道 ○市道 ・町道 ・村道 ・広道</p> <p>幅員 - m (2以上の道路に接する場合には、広い方の道路幅員を記入)</p> <p>指定の建ぺい率 60.0% 指定の容積率 200.0%</p> <p><b>工事建物の概要</b></p> <p>② 北舎 : RC 造・3階建て、延べ床面積 2,911.54㎡ ※工事対象外</p> <p>⑦-1 南舎 : RC 造・2階建て、延べ床面積 1,300.77㎡</p> <p>⑩ 特別教室棟 : RC 造・2階建て、延べ床面積 772.21㎡</p> <p>⑭-1 屋内運動場 : S 造・平屋建て、延べ床面積 1,194.329㎡ ※工事対象外</p> <p>⑯ 屋外便所 : S 造・平屋建て、延べ床面積 18.9㎡</p> <p><b>工事の範囲</b></p> <p>○建築工事 (トイレ改修に伴う内装、建具等)</p> <p>○電気設備工事 (トイレ改修に伴う幹線、電灯設備等)</p> <p>○機械設備工事 (トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等)</p> <p>○外構工事一式</p> <p><b>特記仕様書の範囲</b></p> <p>特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。</p> <p>○構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書</p> <p>○解体工事特記仕様書</p> <p>○電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書</p> <p>○可児市建設工事特記仕様書</p> <p><b>別途工事</b></p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。</p> <p>なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和5年3月改定】)」(以下「標準仕様書」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事を含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。</p> <p>(3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。</p> <p>2. 本特記仕様書の表記</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>特記事項に記載の[ ] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する事情(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。</p> <p>上記事項が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)の規定による。</p> <p>(5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。</p>		<p>⑧ 発生材の処理等</p> <p>※引渡しを要するもの(・金属類 ※PCB含有物 ( ) (1.3.12) ・特別管理産業廃棄物(※廃石綿 ( ) ・現場において再利用を図るもの ( ) ・再生資材の活用を図るもの ( ) ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ( ) ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による</p> <p>・PCB含有シーリング材の分析調査</p> <p>・第一次判定</p> <p>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う採取箇所数(計 箇所)</p> <p>採取場所 ※図示 ( )</p> <p>・第二次判定</p> <p>専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う分析個数(計 個)</p> <p>・除去処理工事</p> <p>撤去工法 「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による除去範囲 ※図示 ( )</p> <p>※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出</p> <p>建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成したものとす。</p> <p>種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [3.2.3][表3.2.1]</p> <p>※再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 [4.6.2]</p> <p>[G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」(以下「グリーン購入法」という。)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更(平成31年2月8日閣議決定)」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用しないこと。(1.4.1)</p> <p>1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。</p> <p>i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。</p> <p>iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。</p> <p>i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</p> <p>ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</p> <p>iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。(1.4.2)</p> <p>1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。</p> <p>3) 安定的な供給が可能であること。</p> <p>4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。</p> <p>なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</p> <p>製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を監督員へ提出する。</p> <p>改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>※施工計画調査 (1.5.1~3)</p> <p>本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。</p> <p>報告書 監督員に2部提出</p> <p>立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付</p> <p>調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。</p> <p>・埋設配管の試掘</p> <p>範囲、復旧方法 ※図示 ( )</p> <p>・施工数量調査(外壁改修範囲) (1.5.2、3)</p> <p>調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れの挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規塗料との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ( )</p> <p>・既存塗膜の付着力試験</p> <p>試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する</p>	<p>① 共通事項</p> <p>⑮ 技能士</p> <p>16 技能資格者 (1.6.3)</p> <p>⑰ 施工の検査等 (1.6.5、6)</p> <p>⑱ 施工の立会い (1.6.7)</p> <p>19 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>⑳ 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1)</p> <p>㉑ 電子納品</p>	<p>・施工数量調査(防水改修範囲) (1.5.2、3)</p> <p>調査範囲 ※防水改修範囲 ・図示</p> <p>調査方法 ・図示 ・</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ( )</p> <p>※適用する適用する技能士 (1.6.2)</p> <table border="1"><thead><tr><th>工事種目</th><th>技能士検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>○とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>○鉄筋組立作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>○型枠組立作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>○コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>石材施工</td><td>・石張り作業</td></tr><tr><td>木工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>内装仕上げ施工</td><td>○鋼製地下工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>・777防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・911防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・777防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・911防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・合成ゴム系防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・塩化ビニル系防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ペレット防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○シーリング防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・改質777防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい改修工事</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>樹脂接着剤注入施工</td><td>・樹脂接着剤注入工事作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>・左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>サッシ施工</td><td>○ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>○ガラス工事作業</td></tr><tr><td></td><td>自動ドア施工</td><td>・自動ドア施工作業</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上げ施工</td><td>○鋼製地下工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上げ施工</td><td>○777防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・911防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ペレット系防水工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ボード仕上工事作業</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・壁張り作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>○左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>塗装</td><td>○建築塗装作業</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>型枠施工</td><td>・型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>鉄筋施工</td><td>・鉄筋組立作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>・コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>路面標示施工</td><td>・溶剤インパクトマーカ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr></tbody></table> <p>・溶接技能者((一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者)</p> <p>・圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者)</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。</p> <p>2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。</p> <p>測定対象室 ( ) 測定箇所数 ( )</p> <p>測定方法 ※パップ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法</p> <p>測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン</p> <p>換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。</p> <p>閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。</p> <p>測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。</p> <p>測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。</p> <p>測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。</p> <p>○完成図(施工図、施工計画書を除く)</p> <p>※新規に作成 ・既存完成図を修正</p> <p>記載内容は監督職員と協議する。</p> <p>可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。</p> <p>※提出完成図(A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部)</p> <p>○保全に関する資料</p> <p>提出 ※1部 ・</p> <p>○施工図(・監督員の指示による ( ))</p> <p>提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部</p> <p>○施工計画書(・監督員の指示による ( ))</p> <p>提出 ※1部 ・</p> <p>本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。</p> <p>製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。</p> <p>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員に承諾を受ける。</p> <p>完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)</p>	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	○とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	○型枠組立作業		コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	金属工事	内装仕上げ施工	○鋼製地下工事作業		建築板金	・内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業			・911防水工事作業			・777防水工事作業			・911防水工事作業			・合成ゴム系防水工事作業			・塩化ビニル系防水工事作業			・ペレット防水工事作業			○シーリング防水工事作業			・改質777防水工事作業			・FRP防水工事作業	屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ガラス工事作業		自動ドア施工	・自動ドア施工作業	内装改修工事	建築大工	・大工工事作業		内装仕上げ施工	○鋼製地下工事作業		建築板金	・内外装板金作業		内装仕上げ施工	○777防水工事作業			・911防水工事作業			・ペレット系防水工事作業			○ボード仕上工事作業			・壁張り作業		左官	○左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業		鉄筋施工	・鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	・建築配管作業	植栽工事	路面標示施工	・溶剤インパクトマーカ工事作業		造園	・造園工事作業	<p>① 共通事項</p> <p>㉒ 工事写真</p> <p>23 設計GL</p> <p>㉔ 建設機械</p> <p>㉕ 設備工事との取り合い</p> <p>㉖ 事故報告</p> <p>㉗ 養生その他</p> <p>㉘ 完成写真</p> <p>㉙ 建設発生土の処理</p> <p>㉚ 書類の書式等</p> <p>㉛ 概成工期</p> <p>32 下請施工業務</p> <p>㉜ 産業廃棄物の適正処理</p> <p>㉝ 下請業者等</p>	<p>国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。</p> <p>※設計GL=BM+ mm(現状地盤高は図示)</p> <p>1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。</p> <p>2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改定平成23年7月13日国総環第1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標を達成した建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。</p> <p>本工事の施工範囲</p> <p>※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強</p> <p>※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強</p> <p>※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図</p> <p>※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員に承諾を受ける。</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。</p> <p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。</p> <p>※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。</p> <p>工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。</p> <p>撤出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。</p> <p>監督員と協議のうえ、工事車両の出入り及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。</p> <p>・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。</p> <p>・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。</p> <p>撮影箇所数 ※ ( ) 箇所 ・航空写真 ( ) 箇所 ○監督員の指示による</p> <p>本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。</p> <p>提出内容</p> <p>※電子データ 1部</p> <p>画素:長辺で2880PIX以上</p> <p>記録方式:RGB(フルカラー) ・JPEG最高画質</p> <p>記録媒体:CD-R(ISO)</p> <p>・カラープリント キャビネット ( ) 部</p> <p>アルバム(黒表紙金文字30mm×30mm程度) ※無し ・有り</p> <p>・四つ切 ( ) 枚 ※アルミ額縁 ・印刷用紙 A4縦</p> <p>・半切 ( ) 枚 ※アルミ額縁 ・撮影内容:監督員の指示による</p> <p>・全紙 ( ) 枚 ※アルミ額縁 ・提出部数:監督員の指示による</p> <p>[3.2.5]</p> <p>「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、搬入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。</p> <p>○場外指定場所に搬出する。</p> <p>※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。</p> <p>・場内指定場所に敷き均し ( )</p> <p>・場内指定場所に堆積 ( )</p> <p>・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。</p> <p>下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。</p> <table border="1"><thead><tr><th colspan="4">教育委員会事務局 教育総務課</th></tr><tr><th>工事名</th><th colspan="3">可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)</th></tr><tr><th>種別</th><td>改修特記仕様書1</td><td>図面番号</td><td>A01</td></tr><tr><th>縮尺</th><td>—</td><td>作成年月日</td><td>2024.10</td></tr><tr><th>設計者</th><td colspan="3">株式会社 デザインボックス</td></tr><tr><th>氏名</th><td colspan="3">一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美</td></tr></thead></table>	教育委員会事務局 教育総務課				工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)			種別	改修特記仕様書1	図面番号	A01	縮尺	—	作成年月日	2024.10	設計者	株式会社 デザインボックス			氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美		
工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																																																																																													
仮設工事	とび	○とび作業																																																																																																																																																													
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																																																																																																																																													
コンクリート工事	型枠施工	○型枠組立作業																																																																																																																																																													
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																													
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																																																																																													
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																																																																																													
金属工事	内装仕上げ施工	○鋼製地下工事作業																																																																																																																																																													
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																																																													
防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業																																																																																																																																																													
		・911防水工事作業																																																																																																																																																													
		・777防水工事作業																																																																																																																																																													
		・911防水工事作業																																																																																																																																																													
		・合成ゴム系防水工事作業																																																																																																																																																													
		・塩化ビニル系防水工事作業																																																																																																																																																													
		・ペレット防水工事作業																																																																																																																																																													
		○シーリング防水工事作業																																																																																																																																																													
		・改質777防水工事作業																																																																																																																																																													
		・FRP防水工事作業																																																																																																																																																													
屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																																																													
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																																																																																													
	左官	・左官作業																																																																																																																																																													
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																																																																													
建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																													
	ガラス施工	○ガラス工事作業																																																																																																																																																													
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業																																																																																																																																																													
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																																																																																													
	内装仕上げ施工	○鋼製地下工事作業																																																																																																																																																													
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																																																													
	内装仕上げ施工	○777防水工事作業																																																																																																																																																													
		・911防水工事作業																																																																																																																																																													
		・ペレット系防水工事作業																																																																																																																																																													
		○ボード仕上工事作業																																																																																																																																																													
		・壁張り作業																																																																																																																																																													
	左官	○左官作業																																																																																																																																																													
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																																																																													
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業																																																																																																																																																													
耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																																																																																													
	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																																																																																													
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																													
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																																																																													
植栽工事	路面標示施工	・溶剤インパクトマーカ工事作業																																																																																																																																																													
	造園	・造園工事作業																																																																																																																																																													
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																															
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)																																																																																																																																																														
種別	改修特記仕様書1	図面番号	A01																																																																																																																																																												
縮尺	—	作成年月日	2024.10																																																																																																																																																												
設計者	株式会社 デザインボックス																																																																																																																																																														
氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美																																																																																																																																																														

① 共通事項	③ 軽微な変更等 現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。 ④ 事故防止策 安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の掛け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集(下記URL参照)の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html ⑤ 工事着手前協議 受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。 ⑥ 県産材の利用 「公共施設県産材利用推進方針」(岐阜県)に基づいて県産材利用促進に取り組む。 ⑦ 用語の読み替え 「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法(平成16年6月9日公布 法律第95号)」、「工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律95号)」、「改正工業標準化法(平成16年6月)をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。 ⑧ その他 ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。																								
② 仮設工事	① 騒音・粉じん等対策 (2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ○粉じん飛散防止対策(仮設間仕切り) ② 足場等 (2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同おける2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲) ・設置しない 防護シート ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲) ・設置しない 内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種) C種: 利用可能なエレベーター( ) D種: 利用可能な階段(北倉、特別教室棟: 屋内階段、南倉: 屋外階段) ③ 既存部分の養生 (2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 ④ 仮設間仕切 (2.3.2)(表2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設厚の設置箇所 ・図示 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>仕上げ(厚さmm)</th><th>塗装</th><th>充填</th></tr></thead><tbody><tr><td>・A種</td><td>○せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ○軽量鉄骨材</td><td>○なし</td><td>グラスウール 厚さ( )mm</td></tr><tr><td>○B種</td><td>・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>防火シート</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 3) 仮設間仕切りに設ける仮設厚の材質等 <table border="1"><thead><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th><th>塗装</th><th>設置箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>※木製</td><td>※合板張り程度</td><td>○なし ・片面</td><td>○図示</td></tr></tbody></table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ○軽量鉄骨材	○なし	グラスウール 厚さ( )mm	○B種	・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材			・C種	防火シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※木製	※合板張り程度	○なし ・片面	○図示
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																						
・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ○軽量鉄骨材	○なし	グラスウール 厚さ( )mm																						
○B種	・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材																								
・C種	防火シート																								
材質	仕上げ	塗装	設置箇所																						
※木製	※合板張り程度	○なし ・片面	○図示																						
5 監督職員事務所 (2.4.1)	・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100																								
⑥ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない																								
⑦ 工事電力	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償)																								
8 確認済の表示	建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する ・適用しない																								
9 イメージアップ	工事概要及びイメージパースを印刷した看板を 箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。																								
10 建設現場環境改善対象工事	・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建設部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。																								

① 一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。																																																																	
② 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X)																																																																	
③ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6)																																																																	
4 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.2~5)	屋根保護防水 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.1~6) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr></thead><tbody><tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td><td rowspan="3">図示</td><td rowspan="3">図示</td><td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td><td>※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが ・れんが押え</td></tr><tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P2A1</td><td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td><td>(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25 ・50</td><td>※フラットヤーン クロス 70g/m2程度</td><td></td></tr></tbody></table> ・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類(寒冷地仕様) 厚さ( )mm 幅( )mm ・窯業系パネルⅡ類(一般地仕様) 厚さ( )mm 幅( )mm ・窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したものの ・金属複合板 厚さ( )mm 幅( )mm 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものの 屋根露出防水 防水層の種類 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.7~9) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率防水の適用</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・M4C</td><td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td><td rowspan="2">図示</td><td rowspan="2">図示</td><td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td></tr><tr><td>・M3D</td><td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td><td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・P0D1</td><td>・D1-1</td><td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) (厚さmm) ・25 ・50</td><td rowspan="2">図示</td><td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td></tr><tr><td>・M3D1</td><td>※D1-2</td><td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・個 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ⑤: 高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。⑥ 屋内防水 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.10) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th></tr></thead><tbody><tr><td>・P1E</td><td>・E-1</td><td rowspan="2">図示</td><td>・設ける</td></tr><tr><td>・P2E</td><td>・E-2</td><td>・設けない</td></tr></tbody></table> ・E-1の工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ・図示	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示	図示	※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが ・れんが押え	・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3			・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示	図示	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・P0D1	・D1-1	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) (厚さmm) ・25 ・50	図示	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	・M3D1	※D1-2	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E	・E-1	図示	・設ける	・P2E	・E-2	・設けない
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																													
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示	図示	※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが ・れんが押え																																																													
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																	
・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3			(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキン層付き) (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度																																																													
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																												
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示	図示	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無																																																												
・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																											
・P0D1	・D1-1	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) (厚さmm) ・25 ・50	図示	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無																																																												
・M3D1	※D1-2			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																											
工法	種別	施工箇所	保護層																																																															
・P1E	・E-1	図示	・設ける																																																															
・P2E	・E-2		・設けない																																																															

5 改質アスファルト防水 (3.1.4)(3.4.2~4)	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.4.1~3) <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td rowspan="3">図示</td><td rowspan="3">図示</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td></tr><tr><td>・M3AS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・P0AS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート(・設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 ⑤: 高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。⑥ (3.1.4)(3.5.2~4)	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示	図示	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない							
工法	種別					施工箇所	断熱材			仕上塗料			高日射反射率防水の適用			備考																								
		種類	使用量																																					
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示	図示	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無																																	
	・M3AS			・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																															
	・P0AS			・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																															
6 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.1.4)(3.5.1~2)	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率防水の適用</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">・POS</td><td>・S-F1 ・S-F2</td><td rowspan="3">図示</td><td rowspan="3">図示</td><td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td></tr><tr><td>・S4S</td><td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td><td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・S3S</td><td>・S-F1 ・S-F2</td><td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> ⑦M4S ・S-M1 ○S-M2 ・S-M3 ・POS1 ・S1-F1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1 改修標準仕様書 3.5.2(3)(1)(a) (種類) (厚さmm) ・25 ・50 分 類 ※非歩行 ・軽歩行 ⑤: 高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。⑥ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 機械的固定法に使用するボンの長さについては、監督職員立会いのもとボンの引き抜き試験(1箇所/200㎡)を行い、協議の上決定する。 ・S-M2の場合で立上りが接着工法の場合 立上り面のシート厚さ(※1.5mm) ・S1-M1及びS1-M2の場合における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">保護層</th></tr><tr><th>平場のモルタル塗り</th><th>立上り部の</th></tr></thead><tbody><tr><td>・S-C1</td><td>図示</td><td>・床塗り工法</td><td>※7mm以下</td></tr></tbody></table> 床塗りの場合の床の目地 目地割り(※2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類(※押し目地) 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板 脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 個 接着工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地( ) ・行う(・図示 ) ・行わない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POS	・S-F1 ・S-F2	図示	図示	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無	・S4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の	・S-C1	図示	・床塗り工法	※7mm以下
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																		
・POS	・S-F1 ・S-F2	図示	図示	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無																																	
	・S4S			・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																															
	・S3S			・S-F1 ・S-F2	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない																															
種別	施工箇所	保護層																																						
		平場のモルタル塗り	立上り部の																																					
・S-C1	図示	・床塗り工法	※7mm以下																																					

③ 防水改修工事	7 塗膜防水 (3.1.4)(3.6.2~4)(表3.1.1)(表3.6.1) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>高日射反射率防水の適用</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2</td><td rowspan="2">図示</td><td>・製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・L4X</td><td>・X-1 ※X-2</td><td>・製造所の仕様による</td><td>※製造所の仕様による</td><td>※有</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個 ⑤: 高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。⑥ (表3.1.1)(表3.6.2) <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>各工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr></thead><tbody><tr><td>・PIY</td><td>※Y-2</td><td rowspan="2">図示</td><td>※主材料の製造所の仕様による</td><td>・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・P2Y</td><td>※Y-2</td><td>※主材料の製造所の仕様による</td><td>・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> ⑧ シーリング (3.1.4)(3.7.2~8) シーリング改修工法の種類 ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドブローカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.11による。(表3.7.1) <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類(記号)</th></tr></thead><tbody><tr><td>・建具廻り</td><td>・MS-2</td></tr><tr><td>・打継・ひび割れ誘発・ALC目地</td><td>・PU-2</td></tr></tbody></table> シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書 3.7.3(1)(7)~(9)による シーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ⑨ とい (3.8.2, 3) といその他の材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレンドレン ルーフトレンドレンの材質その他 (表3.8.1) <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>材種</th><th>張掛け幅</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ろく屋根用(・縦型・横型)</td><td></td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr></tbody></table> とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの 多雪地域の軒とい取付間隔 ・適用する ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放熱量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による (表3.9.1)(3.9.2, 3) 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・押出175形 ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅( )mm 板厚(※2.0mm)mm 表面処理 種別 ・A B-1種 ※B B-1種 ・B B-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の ○1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2, 3][表13.2.1~3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	※有	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ※X-2	・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有	脱気装置 ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	・PIY	※Y-2	図示	※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2	※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	・建具廻り	・MS-2	・打継・ひび割れ誘発・ALC目地	・PU-2	種別	材種	張掛け幅	・ろく屋根用(・縦型・横型)		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																														
・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	※有	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																														
・L4X	・X-1 ※X-2		・製造所の仕様による	※製造所の仕様による	※有	脱気装置 ・設ける ・設けない																																													
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																															
・PIY	※Y-2	図示	※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																															
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																															
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																		
・建具廻り	・MS-2																																																		
・打継・ひび割れ誘発・ALC目地	・PU-2																																																		
種別	材種	張掛け幅																																																	
・ろく屋根用(・縦型・横型)		・100mm以上 ・50mm以上																																																	
・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上																																																	
・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上																																																	
10 アルミニウム製笠木 (表3.9.1)(3.9.2, 3)	種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・押出175形 ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅( )mm 板厚(※2.0mm)mm 表面処理 種別 ・A B-1種 ※B B-1種 ・B B-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の ○1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2, 3][表13.2.1~3]																																																		
11 長尺金属板葺	下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雷止め ・設置する(施工箇所 ・図示) <table border="1"><thead><tr><th colspan="4">教育委員会事務局 教育総務課</th></tr><tr><th>工事名</th><td colspan="3">可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)</td></tr><tr><th>種別</th><td>改修特記仕様書2</td><td>図面番号</td><td>A02</td></tr><tr><th>縮尺</th><td>—</td><td>作成年月日</td><td>2024.10</td></tr><tr><th>設計者</th><td colspan="3">株式会社 デザインボックス</td></tr><tr><th>氏名</th><td colspan="3">一級建築士 大田登録 第319430号 野村智美</td></tr></thead></table>	教育委員会事務局 教育総務課				工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)			種別	改修特記仕様書2	図面番号	A02	縮尺	—	作成年月日	2024.10	設計者	株式会社 デザインボックス			氏名	一級建築士 大田登録 第319430号 野村智美																												
教育委員会事務局 教育総務課																																																			
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)																																																		
種別	改修特記仕様書2	図面番号	A02																																																
縮尺	—	作成年月日	2024.10																																																
設計者	株式会社 デザインボックス																																																		
氏名	一級建築士 大田登録 第319430号 野村智美																																																		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																
3	防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td>山高 山ピッチ</td> <td>( )種</td> <td>※鋼板製 アルミニウム合金板製</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( ) 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( ) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・ E種 ・ F種 断熱材 ・有り(種別: ) 厚さ(mm): 防火性能: (時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製 アルミニウム合金板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し	4-2	外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>3 浮き部改修工法</p> <p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>4 目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>5 タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III				有	無	有	有	無	有	無		5	建具改修工事	<p>⑤ 1 改修工法 (5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製建具</td> <td>○外部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td>○内部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>2 防火戸 (5.1.4) ※指定する 適用箇所(※建具表による) ・指定しない ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる(※建具表による) ・連動させない</p> <p>3 見本の製作等 (5.1.5) 建具見本の製作 ・行う(建具符号: ) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ) ・納まり等がわかる程度のもの</p> <p>4 防犯建物部品 (5.1.7) ・適用する 適用箇所(※建具表による)</p> <p>⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ○A種(建具符号: ※建具表による) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・C種(建具符号: ※建具表による) 枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級( )</p> <p>表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 屋内の建具 ※B-C-1種 ・B-C-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>⑦ 網戸等 (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する建具(枠見込み70mmのみ)には、脱落防止装置付又は完全内はずし式とし、見本品(模型など)又は施工図を提出して監督員の承認を要する。(5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ※建具表による) ・B種(建具符号: ※建具表による) ・C種(建具符号: ※建具表による) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・T-1 ・T-2) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6)</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p> <p>⑧ 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p> <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による) ○適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: ※建具表による) ・S-5(建具符号: ※建具表による) ・S-6(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級( )</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>⑨ 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2)</p> <p>性能値 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級( )</p> <p>鋼板の種類 ○垂れめっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具			※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	○鋼製建具	○外部		※建具表による	○鋼製軽量建具	○内部		※建具表による	・ステンレス製建具			※建具表による	種類	材種	線径	網目	○防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm									
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																				
	重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製 アルミニウム合金板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																				
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																							
○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																						
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																						
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																						
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																						
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																	
			I	II	III																																																																																																																																																						
			有	無	有	有	無	有	無																																																																																																																																																		
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																								
○アルミニウム製建具			※建具表による																																																																																																																																																								
・樹脂製建具			※建具表による																																																																																																																																																								
○鋼製建具	○外部		※建具表による																																																																																																																																																								
○鋼製軽量建具	○内部		※建具表による																																																																																																																																																								
・ステンレス製建具			※建具表による																																																																																																																																																								
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																								
○防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																								
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																								
4	外壁改修(共通事項)	<p>1 可とう性エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>2 バテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>3 エポキシ樹脂モルタル (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による</p> <p>4 シーリング材 (4.2.2) 建築用シーリング材(JIS A 5758)による</p> <p>5 ポリマーセメントモルタル (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>6 ポリマーセメントスラリー (4.2.2) 試験方法・品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による</p> <p>7 既調合モルタル (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m<sup>3</sup>/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 (4.5.8) 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調合材料 ・既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.3、4) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) ・タイル張りの工法 ・外装タイル(・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り) ・外装ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り) シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り (表4.5.5) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 ・目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリングの種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25	4-4	外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>○水洗い工法(15MPa程度)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法(デッキブラシ併用)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル (4.6.3、4)</p> <p>2 下地調整塗材 (4.6.3、4) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td rowspan="2">○砂壁状</td> <td>・さざ波状 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○厚付け仕上塗材</td> <td>○外装薄塗材 E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹付け・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○複層仕上塗材</td> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹付け・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>・ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○複層仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・ひき起こし ・掻き落し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○薄層仕上塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○厚層仕上塗材</td> <td>・複層塗材 S i</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td rowspan="2">○凹凸状</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法	○水洗い工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法(デッキブラシ併用)		種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	・さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i	・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗り)	○厚付け仕上塗材	○外装薄塗材 E	○凹凸状	・吹付け・ローラー塗り	・可とう形外装薄塗材 E	・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)	○複層仕上塗材	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	・吹付け・ローラー塗り	・外装薄塗材 S	・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)	○厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材 S i	・ひき起こし ・掻き落し	○複層仕上塗材	・外装厚塗材 E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材 E	・ひき起こし ・掻き落し	○薄層仕上塗材	・複層塗材 C E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・可とう形複層塗材 C E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	○厚層仕上塗材	・複層塗材 S i	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	○可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・防水形複層塗材 E	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	○可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 R E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・防水形複層塗材 R S	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	4-5	マスチック塗材塗り	<p>種別 ・A種 ・B種 (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)</p>
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m)																																																																																																																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																																																																								
・0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																																																																									
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																																																																								
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																							
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																						
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																						
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																						
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																						
工法	処理範囲	下地の補修																																																																																																																																																									
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																									
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法																																																																																																																																																									
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法																																																																																																																																																									
○水洗い工法(15MPa程度)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法(デッキブラシ併用)																																																																																																																																																										
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																								
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	○砂壁状	・さざ波状 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																																								
○厚付け仕上塗材	○外装薄塗材 E	○凹凸状	・吹付け・ローラー塗り																																																																																																																																																								
	・可とう形外装薄塗材 E		・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																								
○複層仕上塗材	・防水形外装薄塗材 E	○凹凸状	・吹付け・ローラー塗り																																																																																																																																																								
	・外装薄塗材 S		・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																								
○厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・外装厚塗材 S i		・ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																								
○複層仕上塗材	・外装厚塗材 E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・外装厚塗材 E		・ひき起こし ・掻き落し																																																																																																																																																								
○薄層仕上塗材	・複層塗材 C E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・可とう形複層塗材 C E		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
○厚層仕上塗材	・複層塗材 S i	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・複層塗材 E		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
○可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・防水形複層塗材 E		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
○可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 R E	○凹凸状	・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								
	・防水形複層塗材 R S		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																								

⑤ 10	ステンレス製 建具	性能値級 (5.2.2)(5.6.2~5)(表5.6.1) 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:※建具表による) ・適用しない ・外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:※建具表による) ・S-5(建具符号:※建具表による) ・S-6(建具符号:※建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級( ) 耐震ドア 内面変形追随性の等級( ) ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ
⑪	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 ・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
⑫	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による ・金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.2による ・建具表による 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.3による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による
⑬	鍵	マスターキー ・製作する ※製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 ○3本(PS同一キー) 鍵箱 ○無 ・有 鋼製 ・10 ・20 ・30 ・60 ・120 ・200本用
14	自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.5による 種類( ) 多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.6による 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.3による 戸の開閉方式 ※建具表による 引き戸用検出装置の種類 ※標準仕様書 表5.8.4による 種類( ) ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない
⑮	自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※標準仕様書 表5.9.1による (試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による
16	重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター耐風圧強度( ) N/m2 ・外壁用防火シャッター耐風圧強度( ) N/m2 ○屋外用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※設ける (設置箇所 ※図示) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置(自動閉鎖型) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12
17	軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度( ) N/m2 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90) スラットの形状 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型

⑥ 18	オーバーヘッドドア	性能値級 (5.12.2~5)(表5.12.1、2) セクション材料による区分 耐風圧性能区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※ステールタイプ ・125(1250) ・アルミニウムタイプ ・100(1000) ・ファイバーグラスタイプ ・75(750) ・50(500) ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ( )
⑩	ガラス	障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 フロート板ガラス 品目及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 型板ガラス 厚さによる種類 ※建具表による 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅱ類 ・Ⅲ類 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ガラスの留め材及び溝の大きさ
20	ガラスブロック	建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ・図示
⑱	ガラス用フィルム	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 目地位置(mm) 平積み 曲面積み 目地位置(mm) 目地位置(mm) ・正方形 ・125×125 ・80 ※8~15 外側 ※6m以下ごと ※無し ・160×160 ・95 ・125 ・15~25 ※15以下 ・有り ・200×200 ・95 ・125 内側 ※6以上 ・320×320 95 ・長方形 ・250×125 80 ・320×160 95
⑲	改修範囲	種 記号 性能等 ・日射調整フィルム ※SC-1 ・SC-2 日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E ・低放射フィルム ※LE 熱貫流率による区分 ・A ・B ・C ・D ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GI-1 ・GI-2 ・層間変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GD-1 ・GD-2 品質 JIS A 5759による。
⑳	改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示

①	既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※土上材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(※図示の範囲) ・除去範囲全て 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示
②	既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示)
4	木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
5	製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種
③	製材	・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級以上 ※1種 ・特類 ※10%以下 ※A種・B種
④	製材	・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ( ) 造作材の場合 ※A種・B種 ・適用する ※A種・B種 ( ) 造作材の場合 ※A種・B種 ・適用しない
6	造作用集材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「集材の日本農林規格」による造作用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等
⑤	集材	・「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等
⑥	集材	・「集材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ※1等・2等
⑦	集材	・「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ※1等・2等
⑧	集材	・「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下

⑦	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(天然木加工・塗装加工) ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・有り(天然木加工・塗装加工) ・適用する ・無し( ) ・適用しない	
⑧	単板積層材	・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・有り(天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・適用する ・無し( ) ・適用しない	
⑨	直交集成板	施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種別 接着性能使用環境 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用	
8	床張り用合板合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3) ・普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5.5 ・1類 ・広葉樹 ・2類 ※2等以上 ・1等 ・針葉樹 ※C-D以上	
⑩	構造用合板	施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ・1類 ・特類 ※C-D以上 ※12 ・適用する ・適用しない ( ) ・適用しない	
⑪	化粧合板	・「化粧合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・1類 ・特類	
⑫	化粧合板	・「化粧合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧合板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類 ・2類 ・適用する( )	
⑬	化粧合板	・「化粧合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 間伐材等の適用 ( )	
⑭	パーティクルボード	施工箇所 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) ※15 ・13タイプ ※P又はM	
⑮	構造用パネル	施工箇所 等級 厚さ(mm) ・1級 ・2級 ・3級 ・4級	
⑯	MDF	施工箇所 厚さ(mm) 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分	
⑰	接着剤	(6.5.3、4)(6.8.2)(6.9.3)(6.11.4、5) 接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種類 ・図示	
⑱	防霉・防蟻処理	・防霉、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位( ) (6.5.5)	
教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(Ⅰ期)		
種別	改修特記仕様書4	図面番号	A04
縮尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 デザインボックス		
氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美		

⑥ 内装改修工事	10 防蟻・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・K2・K3・K4 ・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※改修標準仕様書0.5.5 (1)(b)② A~Iによる ※JIS A 15711に適合又は同等品 ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 ( ) (6.6.2~4)(表6.6.1、2) 野縁等の種類 屋外 ※25形・19形 屋内 ※19形・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる(・1・1.15・1.3)の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込みインサート ※使用する ・使用しない あと施工アンカーの確認試験 ※行う ・行わない 箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 確認強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の 単位面積当たりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合、400N程度 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(8)による ・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 (6.7.3、4)(表6.7.1)
⑪ 軽量鉄骨天井下地	11 軽量鉄骨天井下地 スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書 表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による 図示 (6.8.2、3)(表6.8.1)
⑫ 軽量鉄骨壁下地	12 軽量鉄骨壁下地 目地処理する工法 ※熱溶接工法 (6.8.2~4)(表6.8.1)
⑬ ビニル床シート	13 ビニル床シート 種類(記号) 色柄 厚さ(mm) ※FS 無地 2.0 ・マーブル柄 2.5 ・柄物 (6.8.2、3)(表6.8.1)
14 ビニル床タイル	14 ビニル床タイル 種類(記号) 色柄 寸法 厚さ(mm) ※KT 無地 300×300 2.0 ・TT 柄物 450×450 2.5 ・FT ・FOA ・FOB (6.8.2~4)(表6.8.1)
⑮ 特殊機能床	15 特殊機能床 ・帯電防止床シート 種類( ) 性能( ) 厚さ( )mm (6.8.2~4)(表6.8.1) ・帯電防止床タイル 種類( ) 性能( ) 寸法( × )mm 厚さ( )mm ・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による 種類( ) 形状( ) ・耐動荷重性床シート 種類( ) 厚さ( )mm ○防滑性床シート 種類( FS ) 厚さ( 2.5 )mm ・防滑性床タイル 種類( ) 寸法( × )mm 厚さ( )mm
16 ビニル幅木	16 ビニル幅木 材質の種類 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60・75・100 厚さ(mm) ※1.5以上 (6.8.2~4)(表6.8.1)
17 ゴム床タイル	17 ゴム床タイル 種類 ・単層品 ・積層品 色柄 ( ) 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) ( ) (6.8.2~4)(表6.8.2)
18 カーペット敷き	18 カーペット敷き ・織じゅうたん 種類( ) 厚さ( )mm ・織じゅうたん 種類( ) 厚さ( )mm 寸法( × × )mm (6.9.2~3)(表6.9.1、2)

⑥ 内装改修工事	19 合成樹脂塗床 色柄( ) ※模様のない無地) パイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種類(・A種 ・B種 ・C種) ・帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ・タフテッドカーベツト パイル形状 工法 帯電性 ・カットパイル 5~7 全面接着工法 適用する ・ループパイル 4~6 グリッパ工法 適用しない ・カット、ループ併用 下敷き材(グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ・ニードルパンチカーベツト 厚さ(mm) ( ) 帯電性 ・適用する ・適用しない ・タイルカーベツト パイルの形状 種類 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) ※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・カットパイル 第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・カット・ループ併用 第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 タイルカーベツトの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 材質( ) 種類( ) 形状等 ※図示 (6.10.2~4)(表6.10.1~8)
20 フローリング張り	20 フローリング張り 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ ・弾性ウレタン樹脂系塗床 ※防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・薄膜型塗床材 ・平滑仕上げ ・エポキシ樹脂系塗床 ・防滑仕上げ ・樹脂材加工法 ・薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ (6.11.2~7)(表6.11.1~6)
21 畳敷き	21 畳敷き 種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床) ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 [6.12.2、3] (6.12.2、3)(表6.12.1)
⑱ せっこうボードその他のボード及び合板張り	⑱ せっこうボードその他のボード及び合板張り 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・木質系セメント板( ) 種類・厚さ( ) ※図示 ・繊維板( ) 種類・厚さ( ) ※図示 ・パーティクルボード( ) 種類・厚さ( ) ※図示 ・吸音材料 種類・厚さ( ) ※図示 ○せっこうボード 種類・厚さ( ) ※図示 ○繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板のタイプ2) 種類・厚さ( ) ※図示 ・普通合板( ) 表板の樹種名 板面の品質 厚さ ※図示 厚さ ※図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然木化粧合板( ) 種類・厚さ ※図示 化粧板の樹種名 厚さ ※図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない ・特殊加工化粧合板( ) 種類・厚さ ※図示 化粧加工の方法(・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 厚さ ※図示 接着の程度 ・1類 ・2類 防虫処理 ・行う ・行わない せっこうボードの下地 ※図示 遮音シール材 ○適用する(○シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない 合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうボードの目地工法 ○経目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法

⑥ 内装改修工事	23 壁紙張り モルタル・プラスター面の下地調整の種類 ※RB種 コンクリート面の下地調整の種類 ※RB種 せっこうボード面の下地調整の種類 ※RB種 (6.14.2、3) モルタル・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ○既調合材料( ) 既製目地材 ・設ける 施工箇所( ) 形状(※図示) ・ ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・ 種類 ※押し目地 ・ ・設けない ・防水剤 (品質・性能、試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (6.15.2~6)(表6.15.1~3) 25 タイル張り 伸縮調整目地の位置 床タイル(※縦、横とも4m以内ごと) 図示 床タイル以外(・図示) 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 形状寸法(mm) 再生材料の適用( ) 吸水率による区分(ⅠⅡⅢⅣ) うわぐすり(施す/施さぬ) 役物(有/無) 色(標準/特注) 耐凍害性(有/無) 耐滑り性(有/無) 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない ○既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能、試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による ○既製調合目地材 (品質・性能、試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による ・有機系接着剤による質タイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等 形状寸法(mm) 再生材料の適用( ) 吸水率による区分(ⅠⅡⅢⅣ) うわぐすり(施す/施さぬ) 役物(有/無) 色(標準/特注) 耐凍害性(有/無) 耐滑り性(有/無) 備考 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.17.2~5)(表6.17.1)
① 材料	① 材料 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする(箇所: ) (7.1.3)
② 下地調整	② 下地調整 塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% 図示 既存さび止め塗料の鉛含有調査 ・行う(箇所) ○行わない 下地調整 (表7.2.1~7) 下地面の種類 下地調整の種類 塗り部 塗替え 新視 木部 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種 鉄鋼面 ※RB種 ・ RA種 垂鉛めつき面 ※RB種 ・ RA種 垂鉛めつき面(鋼製建具等) ※RB種 ・ RC種 モルタル、プラスター面 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種 コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面 ※RB種 ・ RA種 押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RA種 ・ RB種 ・ RB種 ・ RC種 コンクリート面(DP) ・ RB種 RA種 ・ RB種 ・ RC種 せっこうボード面及びその他ボード面 ※RB種 ・ RA種 ・ RB種 (7.2.1~7)

⑦ 塗装改修工事	3 錆止め塗料塗り 錆止め塗料塗りの種類 (7.3.2、3)(表7.3.1~7.3.4) 鉄鋼面 塗装面 塗替えの種類 工程の種類 EP-G以外 塗替え A種 ※C種 新視見え隠れ A種 ※A種 EP-G 塗替え ※B種・A種 ※B種 新視見え隠れ ※B種・A種 ※C種 新規見え隠れ ※B種・A種 ※A種 垂鉛めつき鋼面 EP-G以外 塗替え ※A種・B種 ※C種 新視鋼製建具等 ※A種・B種 ※A種 EP-G 塗替え C種 ※C種 新視鋼製建具等 C種 ※A種 (7.4.2~7.14.2)(表7.2.1~7.14.1)
④ 塗装	④ 塗装 塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新視 ○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※B種 ・ ※A種 木部屋内 ※B種 ・ ※B種 鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種・A種 塗料の種類 垂鉛めつき鋼面(鋼製建具) ※A種 ・ ※B種 ※1種 ・ 2種 垂鉛めつき鋼面(鋼製建具以外) ※B種 ・ ※B種 ・クリヤラッカー塗り(DL) ※B種・A種 ※B種・A種 ・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) - ○アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種・A種 ※B種・A種 ・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 上塗り等級(Ⅰ)級 A種 上塗り等級( )級 A種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種 ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント(EP-G) コンクリート面等 ※B種 ・ A種・B種 屋内の木部 ※B種 ・ ※A種 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・ A種・B種 屋内の垂鉛めつき鋼面 ※B種 ・ A種・B種 ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種 ・ A種・B種 ・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) ※B種 ・ A種・B種 ○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※B種・A種 ※B種・A種 ・オイルステイン塗り(OS) - ・木材保護塗料塗り(WP) ※B種・A種 ※B種・A種 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・高反射率塗料塗り( ) 下地調整(改修標準仕様書 表7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種 工程 塗料その他 塗付け量 規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/m <sup>2</sup> ) 塗料塗り JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 2種 ・1級 塗料製造所の仕様による ・2級 ・3級 教育委員会事務局 教育総務課 工事名 可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期) 種別 改修特記仕様書5 図面番号 A05 縮尺 1 作成年月日 2024.10 設計者 株式会社 デザインボックス 氏名 一級建築士 大田登録 第319430号 野村智美

<p>⑧ ユニユニット及びその他工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア [20.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>2 可動間仕切 [20.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スタッド ・パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p> <p>3 移動間仕切 [20.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">走行方向</th> <th rowspan="2">操作方法による種類</th> <th rowspan="2">パネル圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th rowspan="2">遮音性(dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値にして、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>4 トイレブース [20.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・端木タイプ ・アジャスター</td> <td>・標準 ※R</td> <td>・標準</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>5 階段滑り止め [20.2.6]</p> <p>材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ・ゴム又は合成樹脂 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅( )mm 端部フラットエンド( ・あり ・なし)</p> <p>6 手すり</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品</td> <td>・クリアコート ・2-UC ・HL ・SOP ・DP</td> <td>・35 ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>7 黒板及びホワイトボード [20.2.8]</p> <p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)	材質	仕上げ	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	表面材の材料	脚部		ドアエッジ		形状	材質	形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・端木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	・標準	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・2-UC ・HL ・SOP ・DP	・35 ・図示		<p>⑧ 表示 [20.2.10]</p> <p>・衝突防止表示 形状・寸法( ・ 30φ ) 材質( ・ ステンレス製 )</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p> <p>9 煙突ライニング [20.2.11]</p> <p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p> <p>10 ブラインド [20.2.12]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>スラットレールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形 ・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>※25 ・80 ・100</td> <td>※鋼製 ・アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図 とする。</p> <p>11 ロールスクリーン [20.2.13]</p> <p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ※図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p> <p>12 カーテン [20.2.14]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け ・電動</td> <td>・手引き ・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図 とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>13 カーテンレール [20.2.14]</p> <p>材質による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>14 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>溝型×深さ(mm) ・150×80 ・120×80 ・120×150 ・180×150 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ: )</p> <p>15 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・気密形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ</td> <td>・縁縁タイプ ・縁縁タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>16 床点検口(ハッチ)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットレールの材質	幅・高さ	・横形 ・縦形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット	※25 ・80 ・100	※鋼製 ・アルミニウム合金製	・図示	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・電動	・手引き ・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)	材種	寸法	形式	外枠	内枠	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ	・縁縁タイプ ・縁縁タイプ ・目地タイプ	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き	<p>⑧ ユニユニット及びその他工事</p> <p>17 止水板 [20.2.10]</p> <p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り( ) ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table> <p>18 エキスパンションジョイント金物</p> <p>19 くつふきマット</p> <p>20 流し台ユニット</p> <p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・アーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>21 旗竿</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・アーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>22 旗竿受金物</p> <p>材種 ・ステンレス製(SUS304)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>23 車止めさく</p> <p>24 プレキャストコンクリート [20.3.3, 4]</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 図示 取付け方法 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 ・伸縮目地 伸縮調整目地 材質 ※図示 厚さ ※図示</p> <p>25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.2, 3]</p> <p>⑧ 排水工事</p> <p>1 屋外雨水排水 [21.2.1, 2][表21.2.1, 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VP ・VU ・RS-VU</td> <td></td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ※図示 排水溝の種類 ※図示 砂地裏に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地裏に用いる材料 ・再生クラッシュラン[G] ・切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A 現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>2 鉄釘ふた [21.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄釘製 マンホール ふた</td> <td>・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による</td> </tr> </table>	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り( ) ・無し		材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金		材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製			材種	材種	種類	質量区分	備考	・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B		材種	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示		・VP ・VU ・RS-VU		・図示 ・図示 ・図示	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄釘製 マンホール ふた	・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による	<p>⑧ 排水工事</p> <p>3 グレーチング [21.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・普通目 ・細目</td> <td>・</td> <td>・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>4 街きよ、縁石、及び側溝 [21.3.1, 2][表21.3.1]</p> <p>街きよ、縁石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた</td> <td>・図示 ・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>砂利地裏に用いる材料 ○再生クラッシュラン[G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地裏の厚さ ※100(mm) ※図示 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ○行わない</p> <p>※B種</p> <p>5 埋戻し土 [21.2.1]</p> <p>⑩ その他(舗装工事)</p> <p>1 路床 [22.2.2, 3, 5][表22.2.1]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層</td> <td>・A種 ・B種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示 ※図示 ※図示 ※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種[G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m3 (目標CBR ・3以上 ) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強度 ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-6</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p> <p>2 路盤 [22.2.2, 3, 5][表22.3.1]</p> <p>路盤の厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <th>クラッシュラン</th> <th>粒度調整砕石</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>○クラッシュラン</td> <td>○粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>○クラッシュラン[G]</td> <td>○粒度調整砕石[G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]</td> <td>○粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]</td> <td></td> </tr> </table> <p>[22.4.2~6][表22.4.4]</p> <p>3 アスファルト舗装</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ○再生アスファルト[G] ( ・60~80 ・80~100 ) ・ストリートアスファルト 骨材 ○道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材[G]</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの乳剤の種類 ○PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状	・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形	種類	形状、寸法	・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示 ・図示 ・図示 ・図示	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・B種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ※図示 ※図示 ※図示	種類	種類		クラッシュラン	粒度調整砕石	砕石	○クラッシュラン	○粒度調整砕石	再生材	○クラッシュラン[G]	○粒度調整砕石[G]		○クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]	○粒度調整鉄鋼スラグ[G]		○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]		<table border="1"> <tr> <th colspan="4">教育委員会事務局 教育総務課</th> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>改修特記仕様書6</td> <td>図面番号</td> <td>A06</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>作成年月日</td> <td>2024.10</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td colspan="3">株式会社 デザインボックス</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td colspan="3">一級建築士 大井登録 第319430号 野村智美</td> </tr> </table>	教育委員会事務局 教育総務課				工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)			種別	改修特記仕様書6	図面番号	A06	縮尺	—	作成年月日	2024.10	設計者	株式会社 デザインボックス			氏名	一級建築士 大井登録 第319430号 野村智美		
施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																																																																																																																																																																																																							
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																																																																																																																																																																																							
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																									
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																																																																									
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)																																																																																																																																																																																																																																																							
				材質	仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																								
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																																																																																							
表面材の材料	脚部		ドアエッジ																																																																																																																																																																																																																																																										
	形状	材質	形状	材質																																																																																																																																																																																																																																																									
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・端木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	・標準	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																																									
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																										
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・2-UC ・HL ・SOP ・DP	・35 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																											
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットレールの材質	幅・高さ																																																																																																																																																																																																																																																							
・横形 ・縦形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット	※25 ・80 ・100	※鋼製 ・アルミニウム合金製	・図示																																																																																																																																																																																																																																																							
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・電動	・手引き ・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)																																																																																																																																																																																																																																																								
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ	・縁縁タイプ ・縁縁タイプ ・目地タイプ																																																																																																																																																																																																																																																									
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																																										
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																																																																																																																																																																																																										
材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																										
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り( ) ・無し																																																																																																																																																																																																																																																											
材種	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																																																											
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																																																												
材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																									
材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																									
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																										
・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																												
材種	材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・A ・B																																																																																																																																																																																																																																																										
材種	種類・記号	形状	呼び径																																																																																																																																																																																																																																																										
・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
	・VP ・VU ・RS-VU		・図示 ・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
鉄釘製 マンホール ふた	・水針形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (チーバ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (チーバ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S2091による																																																																																																																																																																																																																																																									
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	形状、寸法																																																																																																																																																																																																																																																												
・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示 ・図示 ・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																											
・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・B種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ※図示 ※図示 ※図示																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	種類																																																																																																																																																																																																																																																												
	クラッシュラン	粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																											
砕石	○クラッシュラン	○粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																											
再生材	○クラッシュラン[G]	○粒度調整砕石[G]																																																																																																																																																																																																																																																											
	○クラッシュラン鉄鋼スラグ[G]	○粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																																																																																																																																																																																											
	○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]																																																																																																																																																																																																																																																												
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																																																																																																																													
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事(1期)																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	改修特記仕様書6	図面番号	A06																																																																																																																																																																																																																																																										
縮尺	—	作成年月日	2024.10																																																																																																																																																																																																																																																										
設計者	株式会社 デザインボックス																																																																																																																																																																																																																																																												
氏名	一級建築士 大井登録 第319430号 野村智美																																																																																																																																																																																																																																																												

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																	
1 2 環境配慮 改修工事	<p>1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1、3~5)</p> <p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○) 内部改修範囲 (●) 図示 貸与資料 (あり)</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4</td> <td colspan="3">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・JIS K 3850-1に基づいた測定</td> </tr> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ 直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 ○図示 除去した石綿含有成型板の処分 ○石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定2	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定3	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定4	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定5	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定7	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定9	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法			測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			・JIS K 3850-1に基づいた測定				測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4	25	5	30	測定5	47	10	120		47	10	240	<p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)</p> <p>断熱材 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ (mm) ・ 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書第3章 ・ アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし 外装材の外壁への取付け 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム笠木による</p> <p>3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)</p> <p>複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p> <p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づき 発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ 吹き付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※引き渡しの日から1年</p>	種類	防火性能	備考				<p>6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2~5、9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制御</td> <td>・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 ・ kg (目標CBR ・ 3以上 ・ ) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10<sup>-2</sup> cm/sec 以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・ クラッシュラン [G] ・ 粒度調整砕石 [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 図示 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</p> <p>○塗装塗替え部 特記なき限り、RB種とする。</p> <p>1 3 各下地調整 その他</p>	種類	材料	厚さ(mm)	・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示	・凍上抑制御	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利	・ 図示	・フィルター層	・ 砂	・ 図示	種類	種類	砕石	・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石	再生材	・ クラッシュラン [G] ・ 粒度調整砕石 [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
材 料 名	定性分析方法		定量分析方法																																																																																																																																			
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																																		
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																		
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																		
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																		
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																		
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																		
測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定2	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定3	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定4	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定5	処理作業中	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定7	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定9	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																		
測定名称	測定方法																																																																																																																																					
測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																					
・JIS K 3850-1に基づいた測定																																																																																																																																						
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																			
測定4	25	5	30																																																																																																																																			
測定5	47	10	120																																																																																																																																			
	47	10	240																																																																																																																																			
種類	防火性能	備考																																																																																																																																				
種類	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																				
・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示																																																																																																																																				
・凍上抑制御	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																																				
・フィルター層	・ 砂	・ 図示																																																																																																																																				
種類	種類																																																																																																																																					
砕石	・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石																																																																																																																																					
再生材	・ クラッシュラン [G] ・ 粒度調整砕石 [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																					

■凡例一覧表

Cコテ	コンクリート金ゴテ
Mコテ	モルタル金ゴテ
F S	複層長尺ビニル床シート (消臭・抗菌) t=2.5は防滑仕様
GB-R	せっこうボード
GB-D	化粧せっこうボード
GB-S	シーリングせっこうボード
FK	けい酸カルシウム板 (ベベルエッジ)
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板
R	ラワン合板
V	シナベニア
GW	グラスウール
RW	ロックウール
EP	合成樹脂エマルジョンペイント (シリコン系)
VP	ビニル樹脂
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料
SOP	合成樹脂調合ペイント
NWP	内部木材保護塗料

※建具については、建具表参照のこと。

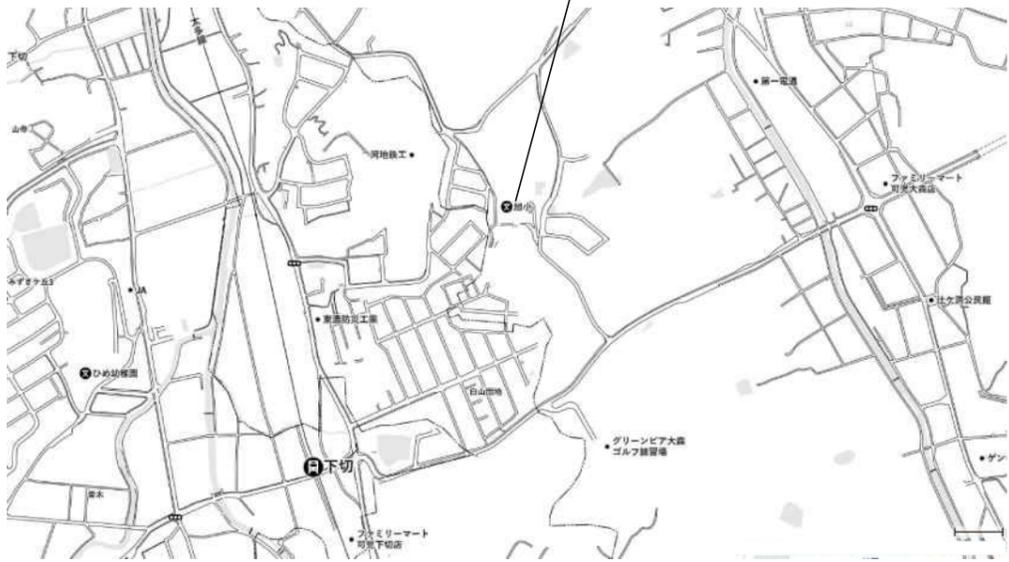
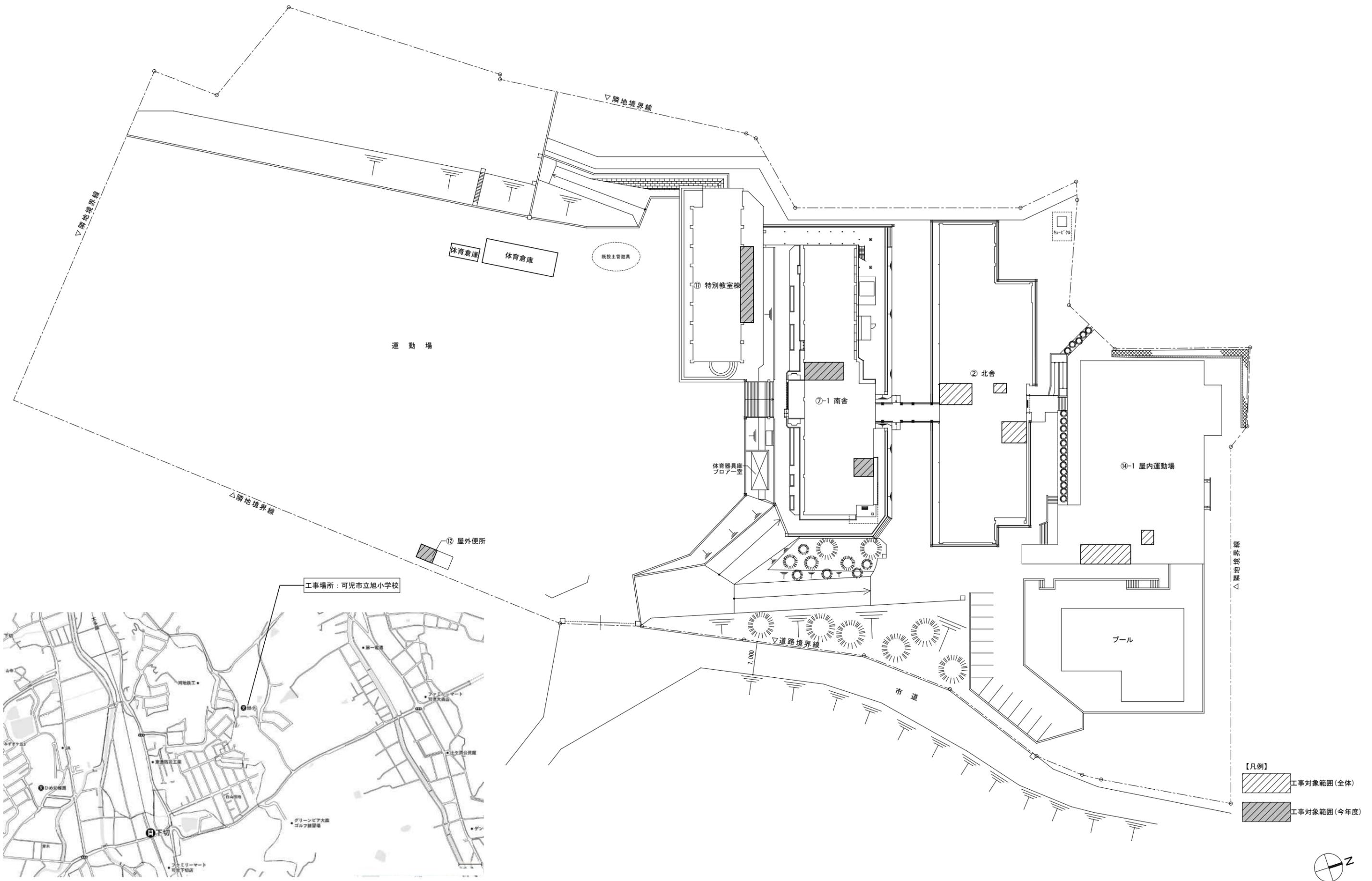
■アスベスト含有建材

② 北倉 ※工事対象外	[男子・女子便所、多目的トイレ] 天井: FK
⑦-1 南倉	[職員用男子・女子便所] 壁: GB-R 天井: FK [男子・女子便所] 天井: FK
⑩ 特別教室棟	[男子・女子便所、多目的トイレ] 天井: FK
⑭-1 屋内運動場 ※工事対象外	[前室] 壁: FK 天井: 有孔FK [男子・女子便所] 天井: 有孔FK
⑫ 屋外便所	[男子・女子便所] 天井: FK

■内装工事材料 ※同等品も可とする。

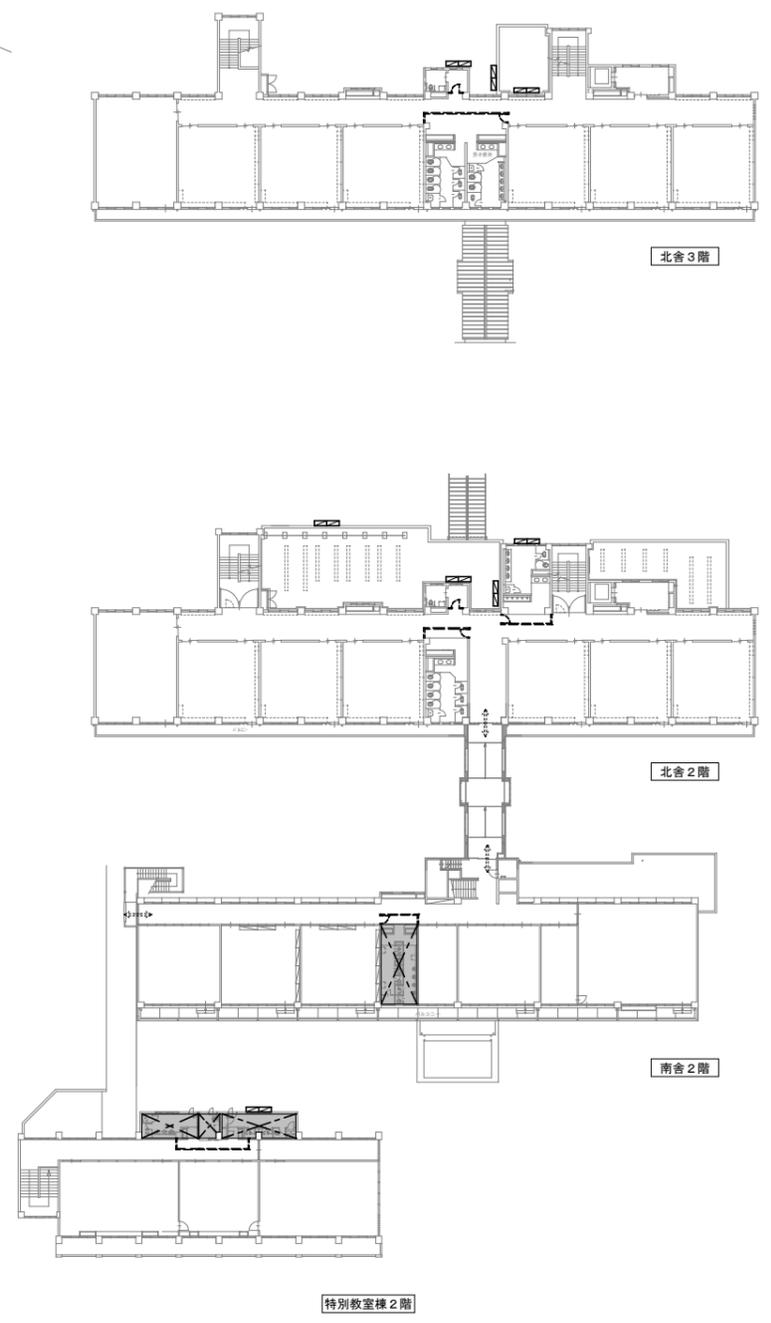
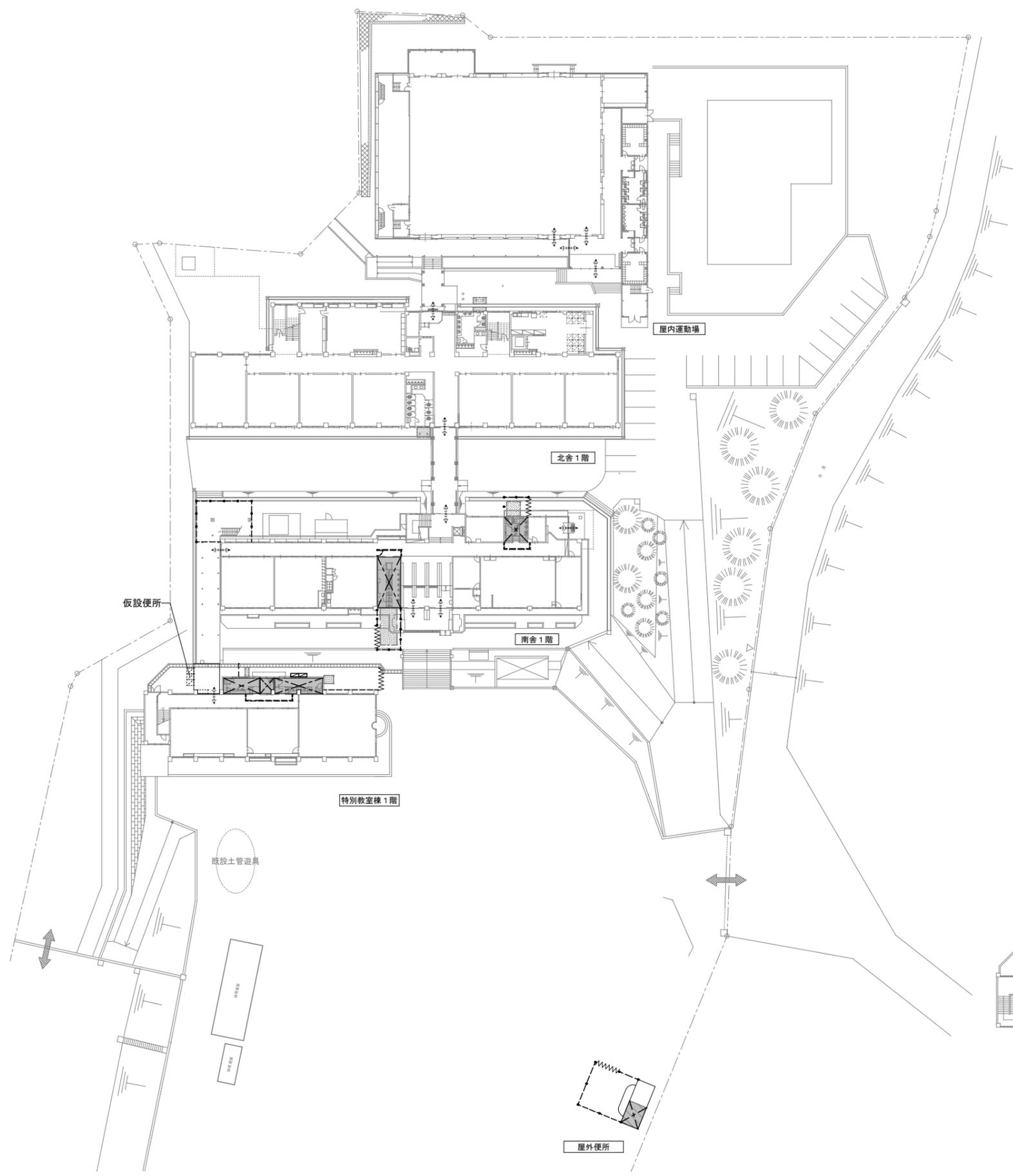
略号	仕様	製作所
汚垂石	ハイドロセラ・フロアPU (薄型) t=7.0	TOTO
MK	アイカセラル (シリコン目地) t=3.0 (壁面端部: アルミジョイナーM形状)	アイカ工業
木製棚板	メラミンフラッシュ t=20 SUS棚受 (2ヶ所) ※寸法は平面詳細図参照のこと。	-

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立旭小学校トイレ大規模改修工事 (I期)		
種 別	改修特記仕様書7	図面番号	A07
縮 尺	—	作成年月日	2024.10
設計者	株式会社 デザインボックス		
氏名	一級建築士 大臣登録 第319430号 野村智美		



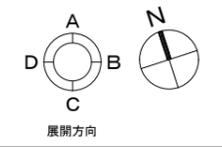
2407	可児市立旭小学校トイレ大規模改造工事（I期）	配置図・付近見取図	1/500 scale	'24.10 date	谷本 drawing	野村 chief	野村 check	 <b>DESIGN BOX</b> architecture & urban design	一級建築士 319430 野村 智美	A 0 8
------	------------------------	-----------	----------------	----------------	---------------	-------------	-------------	--	-----------------------	-------

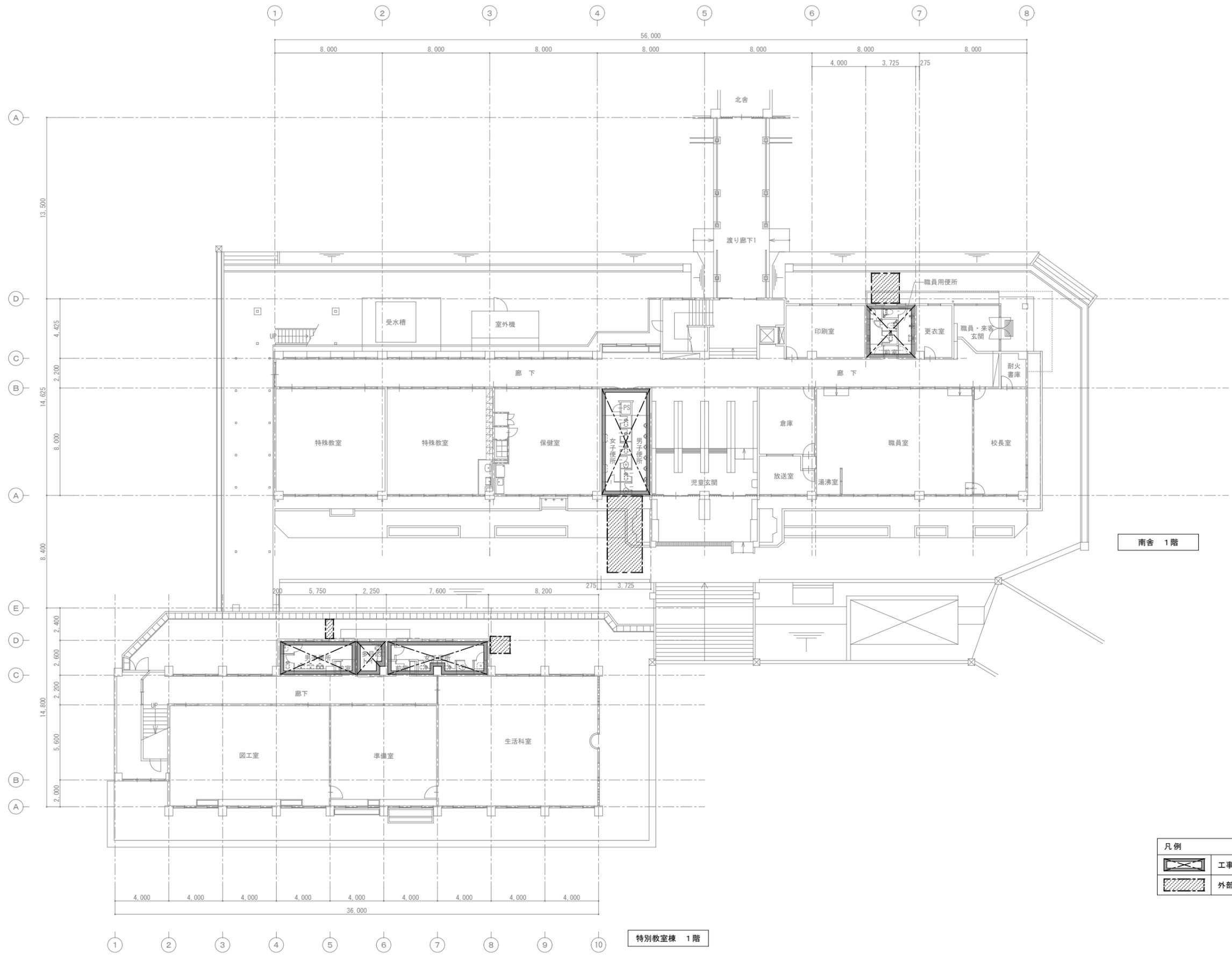
- 仮設便所(配管接続含む)
- ・手洗いシンク×1(全槽敷き600、蛇口1ヶ所)
  - ・水洗タイプ 洋式×2
  - ・水洗タイプ 小便秘×1



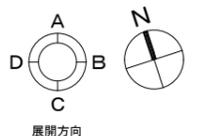
凡例	
	工事対象範囲
	外部改修範囲 ※平面詳細図参照
	仮囲い：成形鋼板 H=2,000
	ゲート：クロスゲート H=1,800×W=3,000、6,000
	仮設間仕切：A種
	仮設扉
	くさび緊結式足場
	職員、児童出入口
	工事車輛出入口

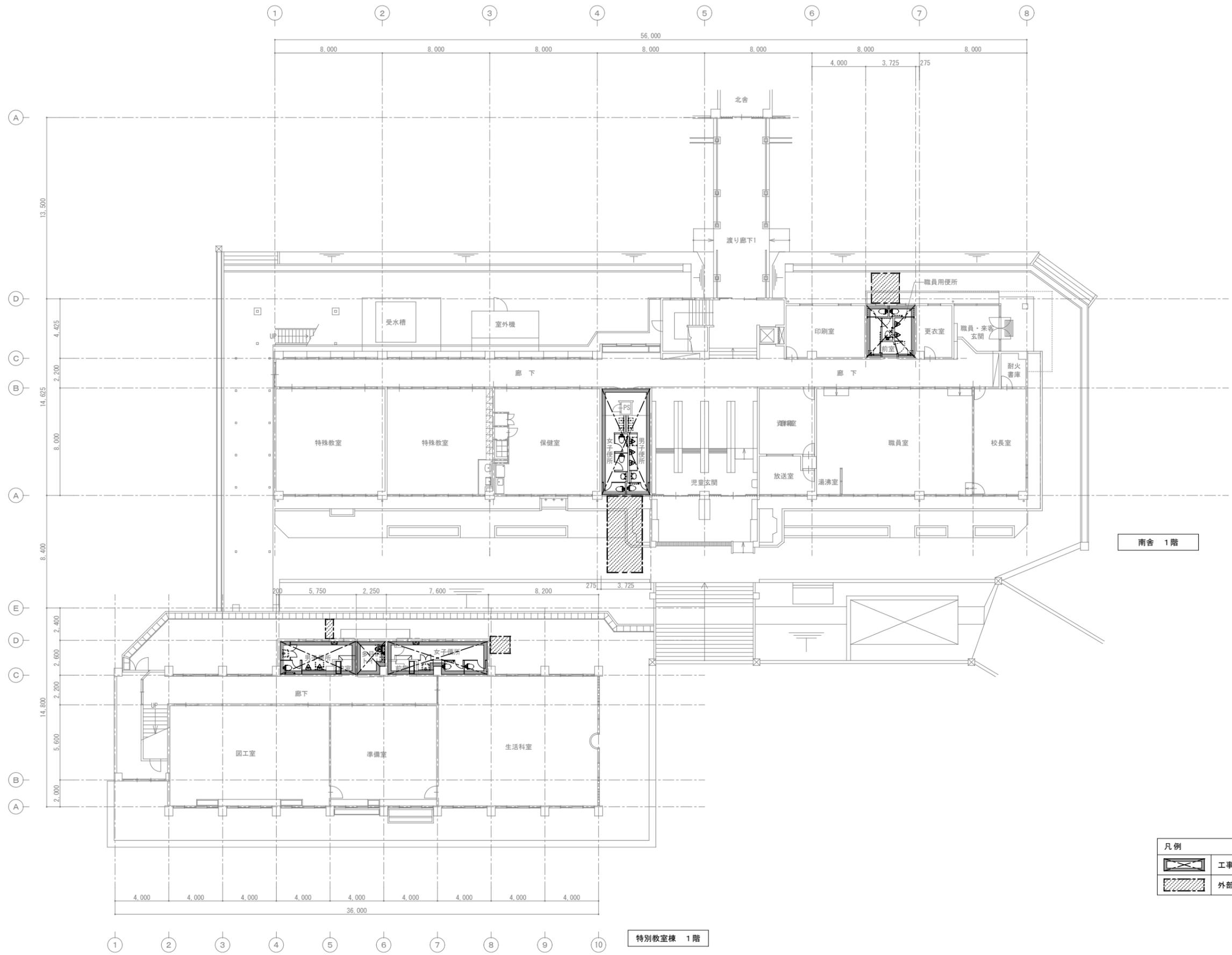
- ・工事用車両通行時には交通誘導員を配置すること。
- ・仮設計画は参考とし関係者及び監督員と協議の上、決定すること。
- ・必要に応じて別途工事関係者及び監督員と協議を行うこと。

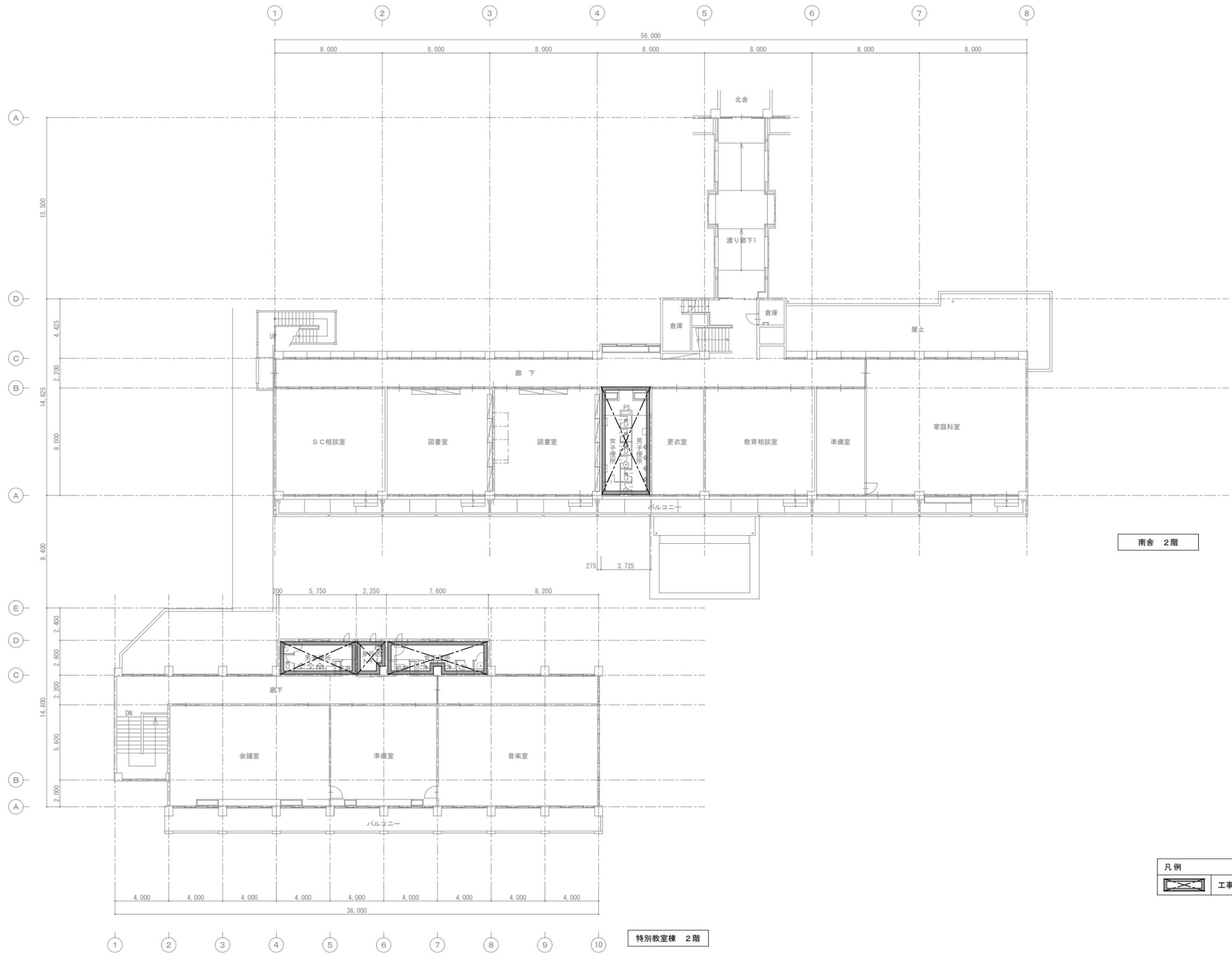




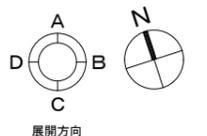
凡例	
	工事対象範囲
	外部改修範囲 ※平面詳細図参照

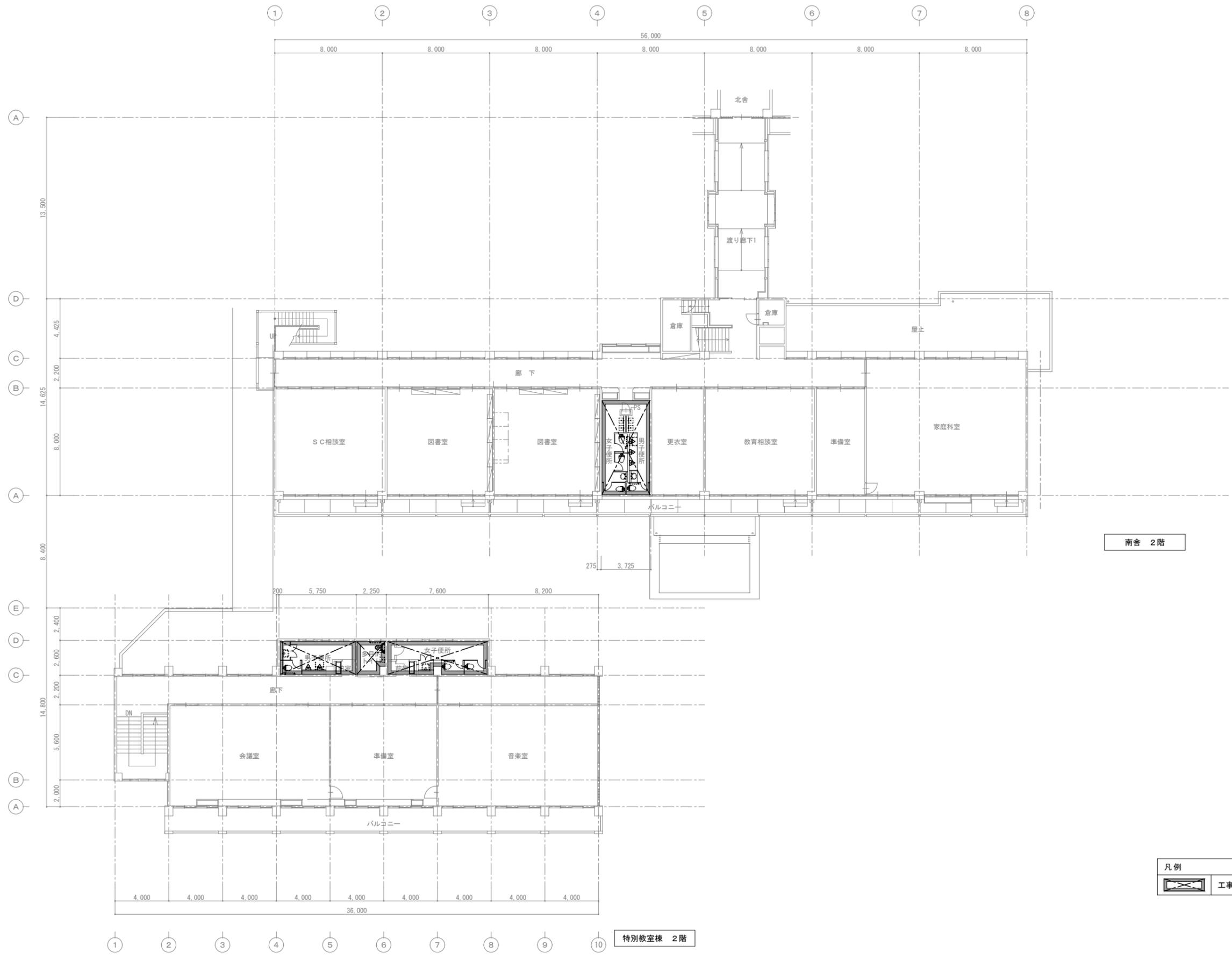




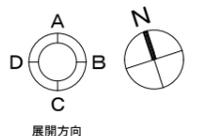


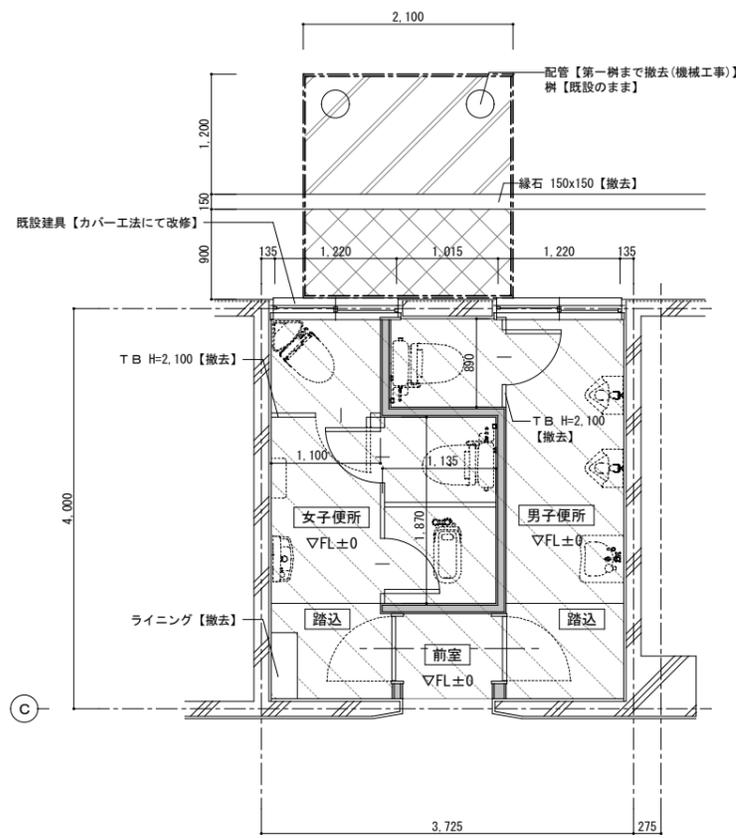
凡例
工事対象範囲



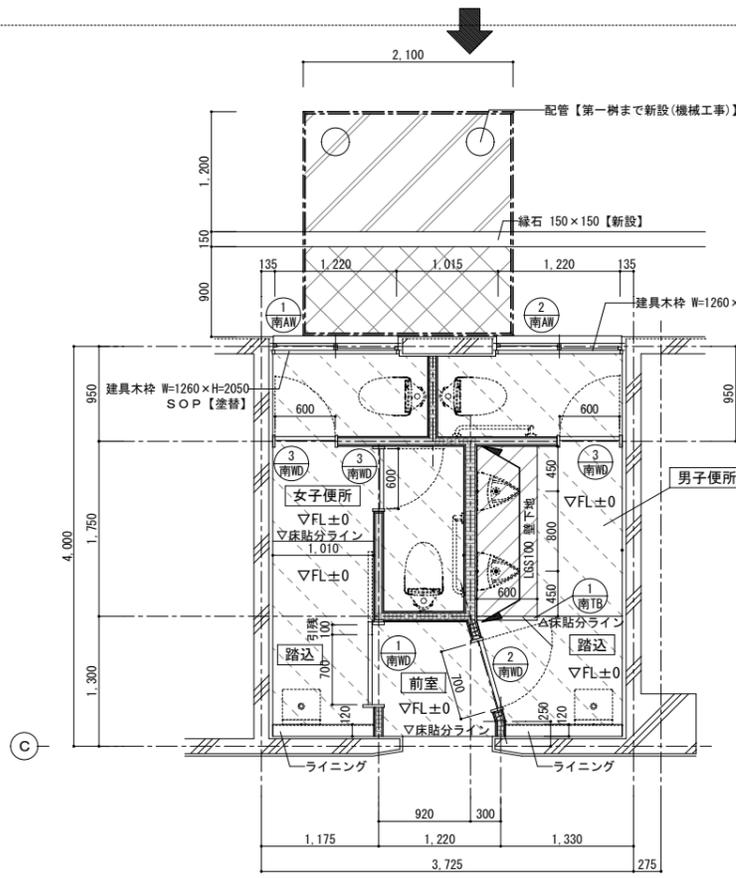


凡例
工事対象範囲





改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	Mコテ下地 FS t=2.0【土間コンクリート共撤去】
巾木	【踏込】ソフト巾木 H=60【撤去】 【便所】Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
壁	【踏込】Mコテ下地 VP 【便所】Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】 【間仕切壁】LGS下地 FK t=6+EP【FK撤去】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【FK撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去】

■改修前凡例 ※浮き部補修: 1m程度

	土間コンクリート t=120(鉄筋D9@300ツグ) + FS【撤去】
	外部工事範囲
	緑石 t=150 + AS t=50【撤去】
	砕石 t=150 + 玉砂利 t=50【移設】
	既存LGS下地 t=65壁【撤去】

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

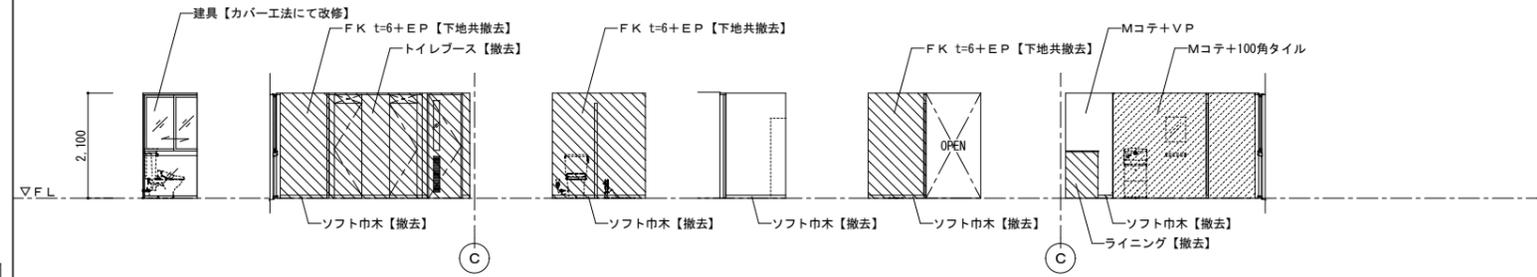
床	Mコテ下地 FS t=2.0【土間コンクリート共新設】 汚垂石 t=7【新設】
巾木	SUS H=60【新設】※雑詳細図参照 【便所・前室】下地調整の上、NAD【塗替】 【便所】既存100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) 【間仕切壁】LGS下地
壁	GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】 【前室側】GB-S t=12.5+9.5+NAD【新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【FK新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設(機械工事)】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

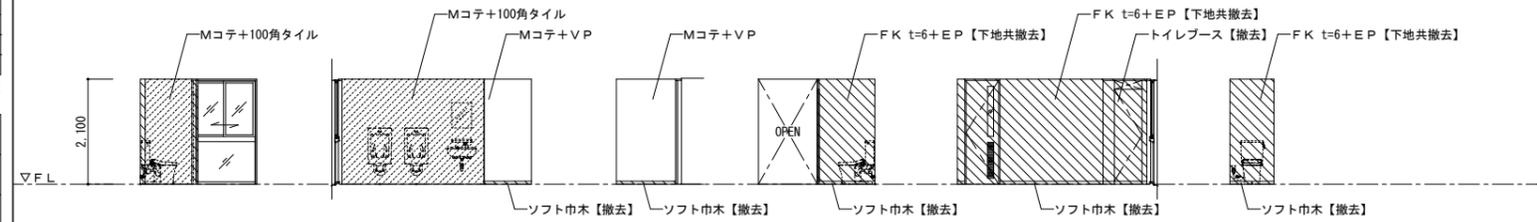
	土間コンクリート t=120(鉄筋D10@200ツグ) + FS t=2.0【新設】 四周差筋 D10@200【新設】
	汚垂石 t=7【新設】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	GW t=50 24K【新設】
	建具【新設】
	外部工事範囲
	緑石 t=150 + AS t=50【新設】
	砕石 t=150 + 玉砂利 t=50【復旧】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100

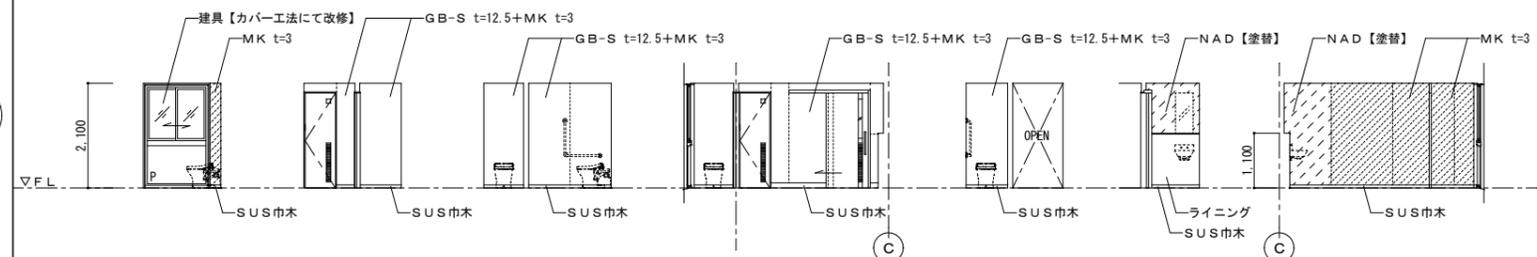


女子便所 A B B' C C' D

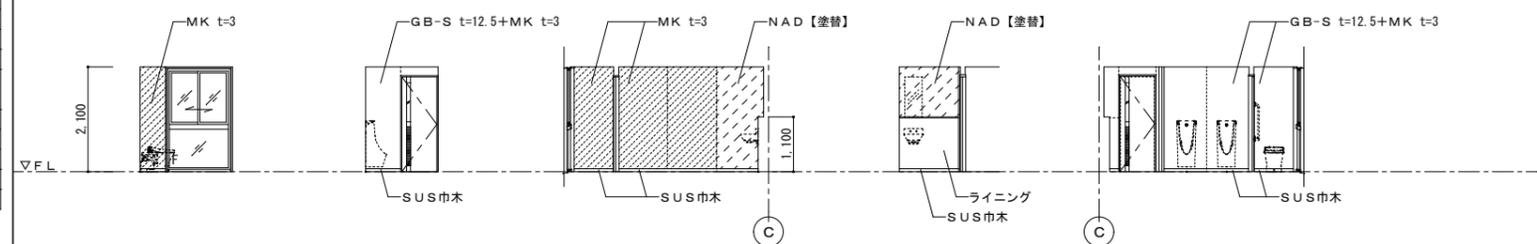


男子便所 A B C C' D D'

改修後 展開図 1/100



女子便所 A A' B B' C C' D



男子便所 A A' B C D

■改修前展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

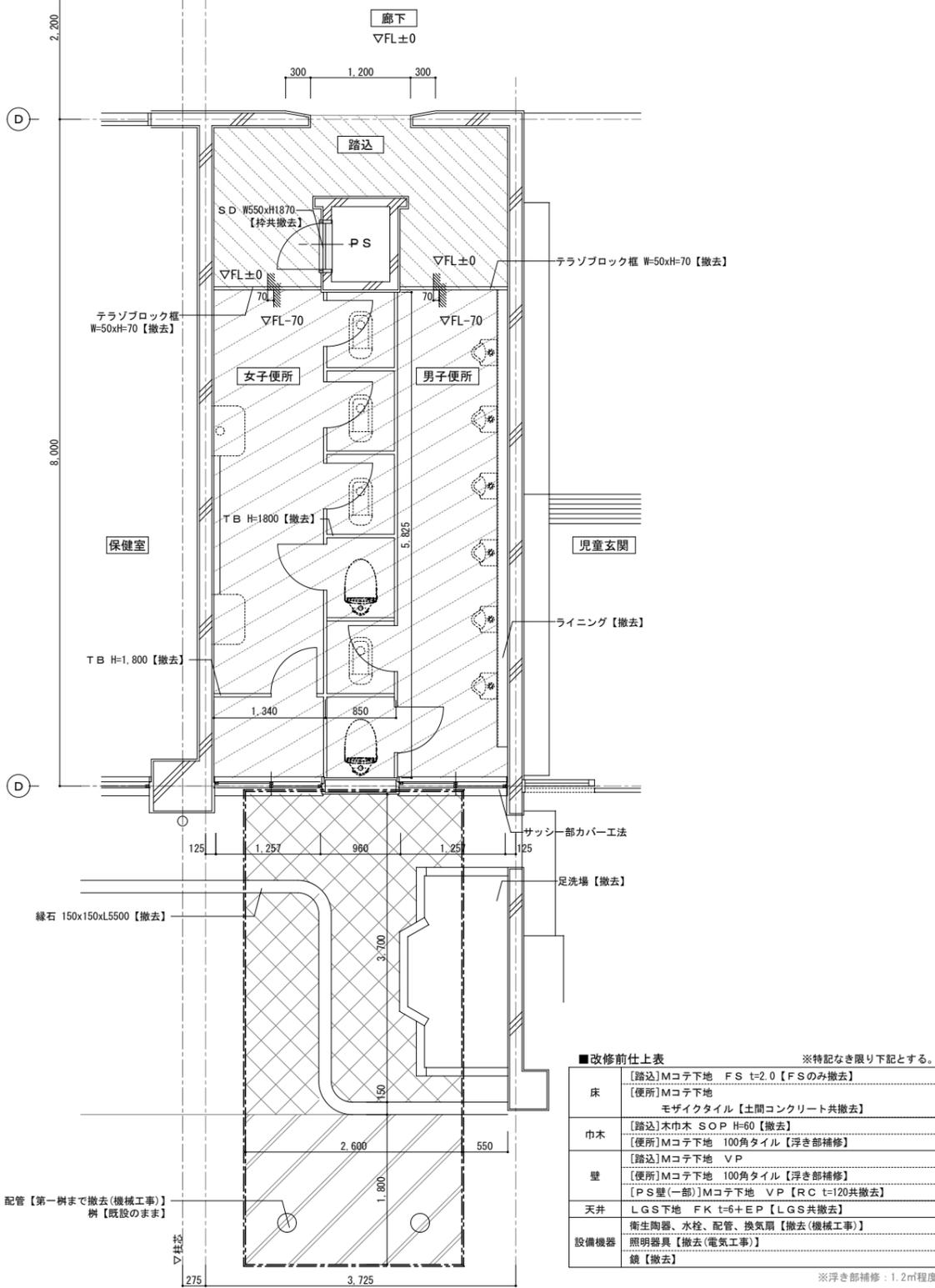
	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

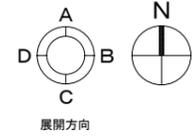
■改修後展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既存タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。  
※特記なくとも、既設部分と新設部分が取合う箇所は、モルタル補修を行う事。  
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種) とする。



改修前 平面詳細図 1/50



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

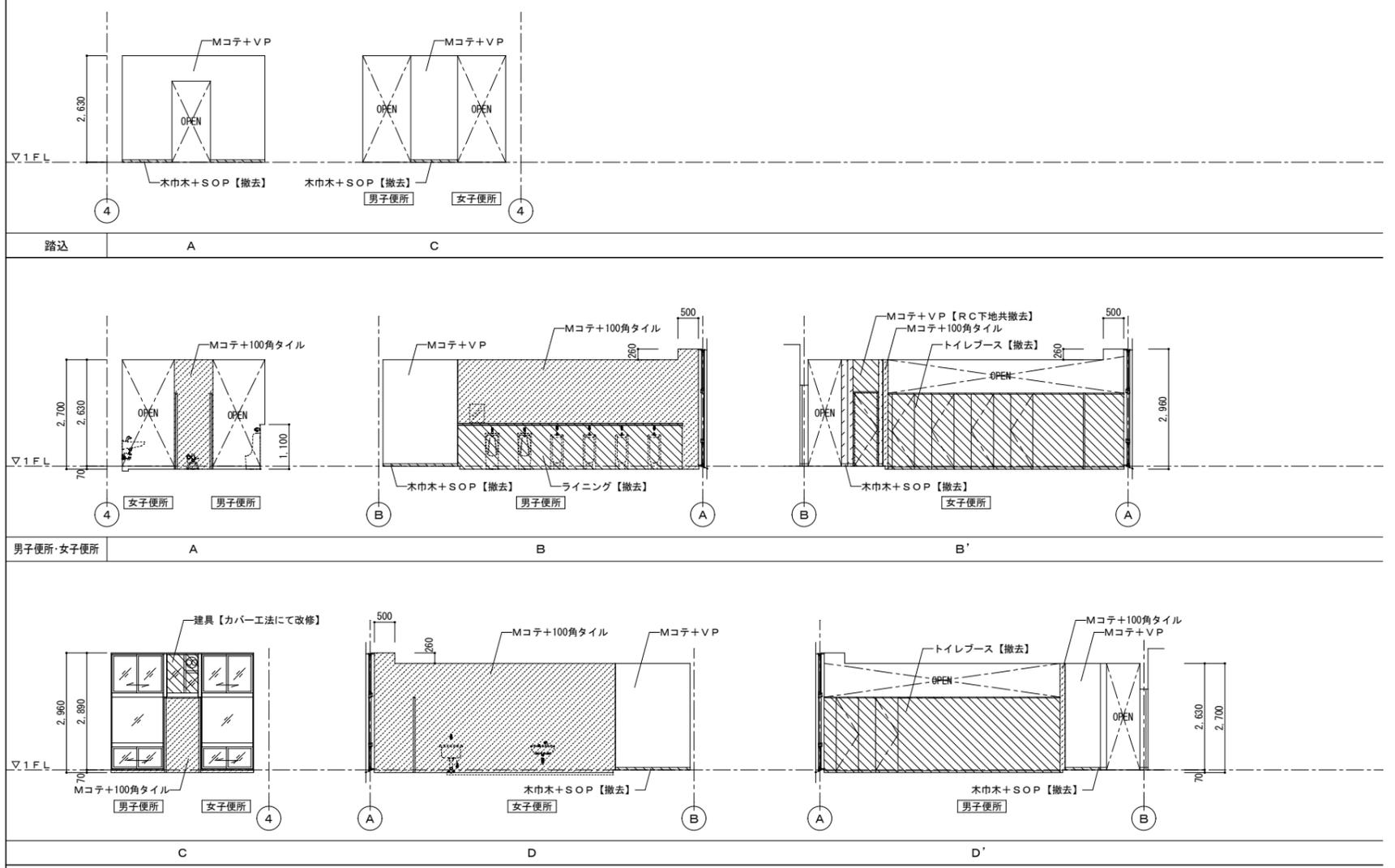
床	[踏込]Mコテ下地 FS t=2.0【FSのみ撤去】 [便所]Mコテ下地 モザイクタイル【土間コンクリート共撤去】
巾木	[踏込]木巾木 SOP H=60【撤去】 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
壁	[踏込]Mコテ下地 VP [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】 [PS壁(一部)]Mコテ下地 VP【RC t=120共撤去】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【LGS共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去】

※浮き部補修：1.2㎡程度

■改修前凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【撤去】
	土間コンクリート t=120(鉄筋D10@300)+タイル【撤去】
	既設RC t=120壁(鉄筋D10@250)【撤去】
	外部工事範囲
	砕石 t=150+AS t=50【撤去】
	砕石 t=150+真砂土 t=50【一時移設(機械工事)】

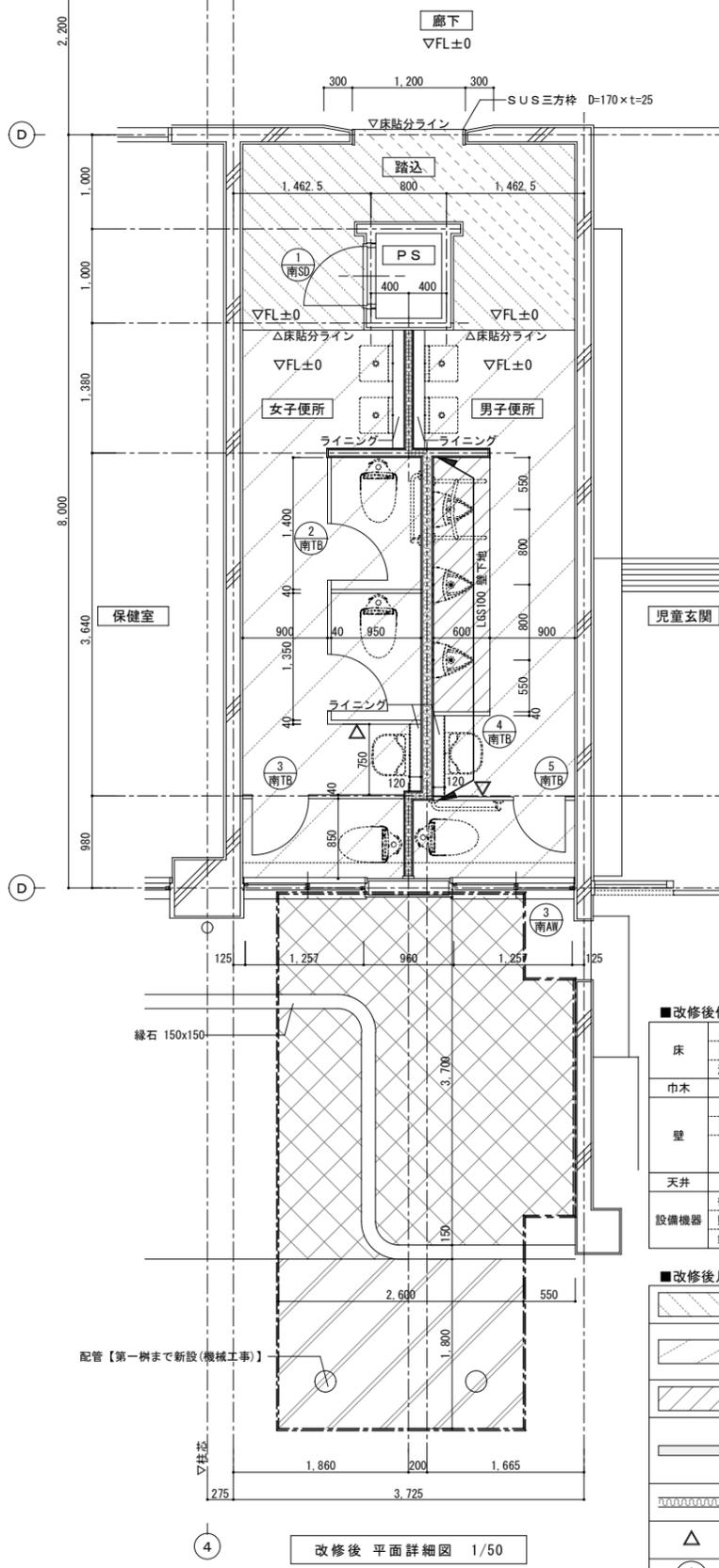
改修前 展開図 1/100



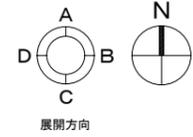
■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。



改修後 平面詳細図 1/50



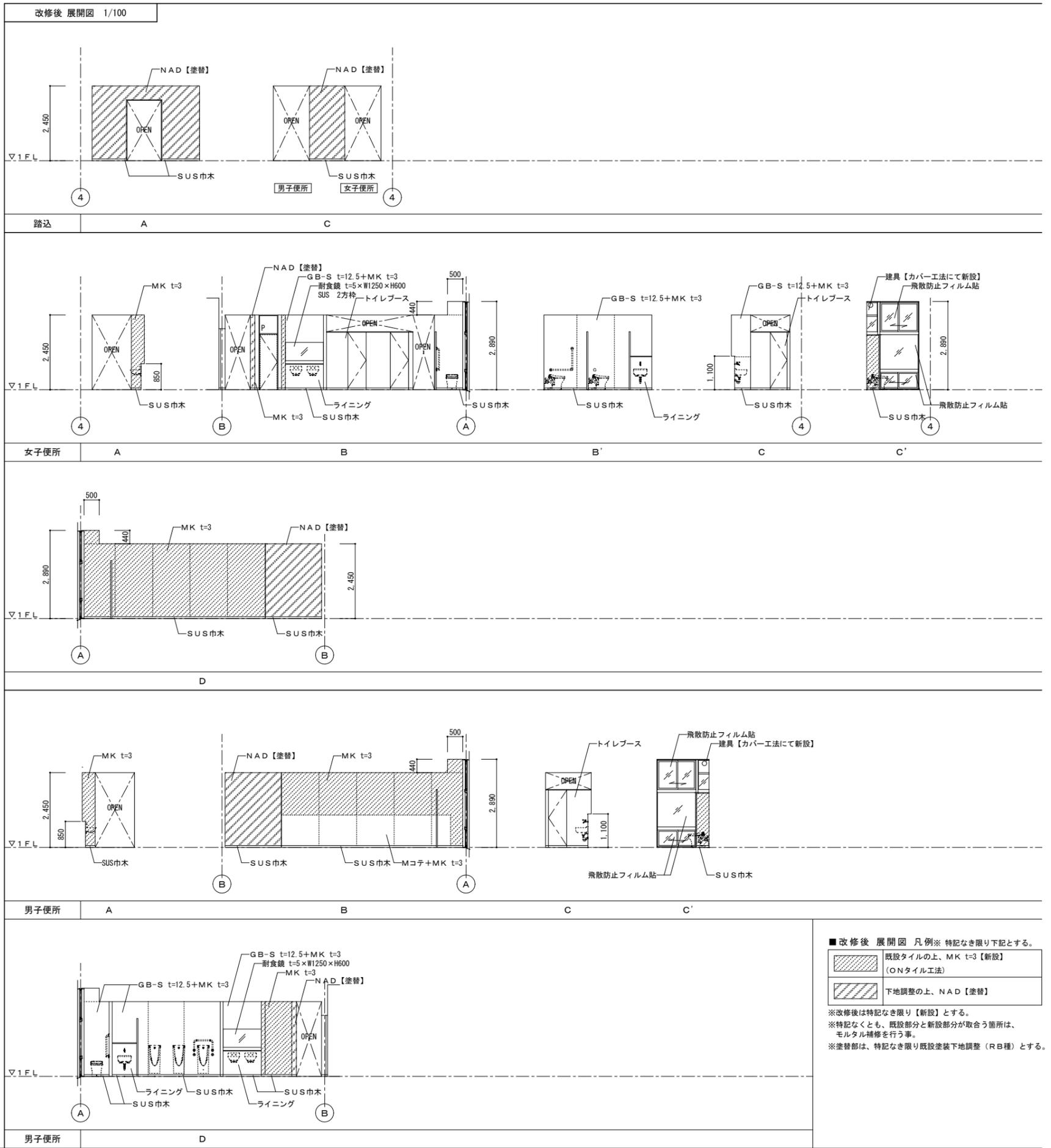
■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[踏込]下地調整の上、FS t=2.0【新設】 [便所]Mコテ下地 FS t=2.0【土間コンクリート共新設】 汚垂石 t=7【新設】
巾木	SUS H=60【新設】※詳細図参照
壁	[踏込]下地調整の上、NAD【塗替】 [便所]既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) [間仕切壁]LGS下地(男女便所間仕切りのみGW充填) GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【張替】
	土間コンクリート t=120(鉄筋D10@200ｼﾝｸﾞﾙ) +FS t=2.0【新設】 四周差筋 D10@200【新設】
	汚垂石 t=7【新設】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	GW t=50 24K【新設】
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集成材 SOP W=600xH=100xL=20
	建具【新設】
	外部工事範囲
	砕石 t=150+AS t=50【新設】
	砕石 t=150+玉砂利 t=50【復旧(機械工事)】

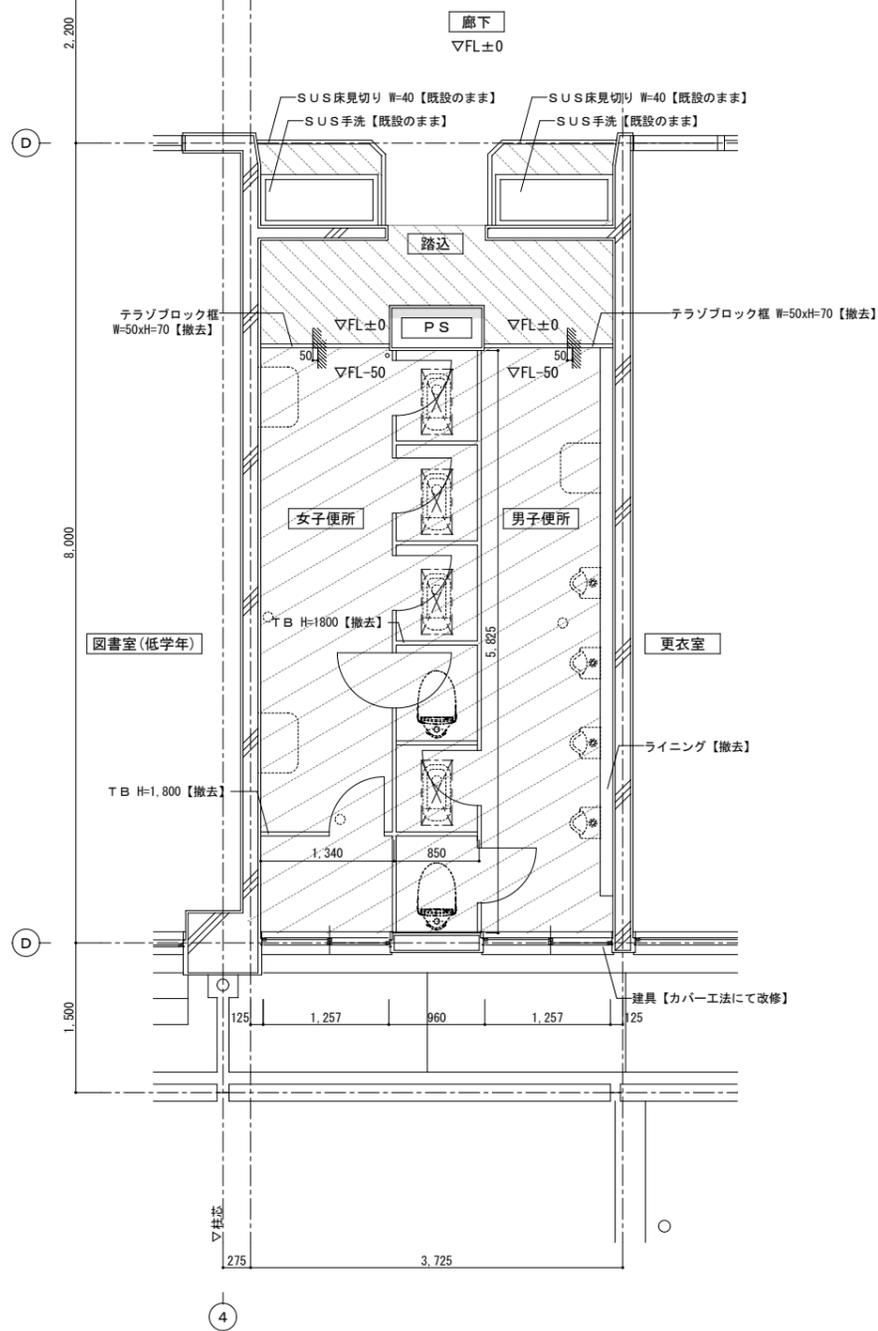
※改修後は特記なき限り【新設】とする。



■改修後 展開図 凡例※ 特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。  
※特記なくとも、既設部分と新設部分が取合う箇所は、モルタル補修を行う事。  
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種)とする。

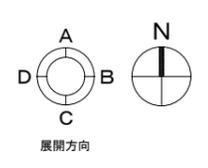


改修前 平面詳細図 1/50

■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[踏込]Mコテ下地 FS t=2.0【FSのみ撤去】 [便所]Mコテ下地 モザイクタイル【タイルのみ撤去】
巾木	[踏込]木巾木 SOP H=60【撤去】 [便所]Mコテ下地 100角タイル
壁	[踏込]Mコテ下地 VP [便所]Mコテ下地 100角タイル [PS壁(一部)]Mコテ下地 VP【RC t=120共撤去】
天井	LGS下地 FK t=6+EP【FK撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

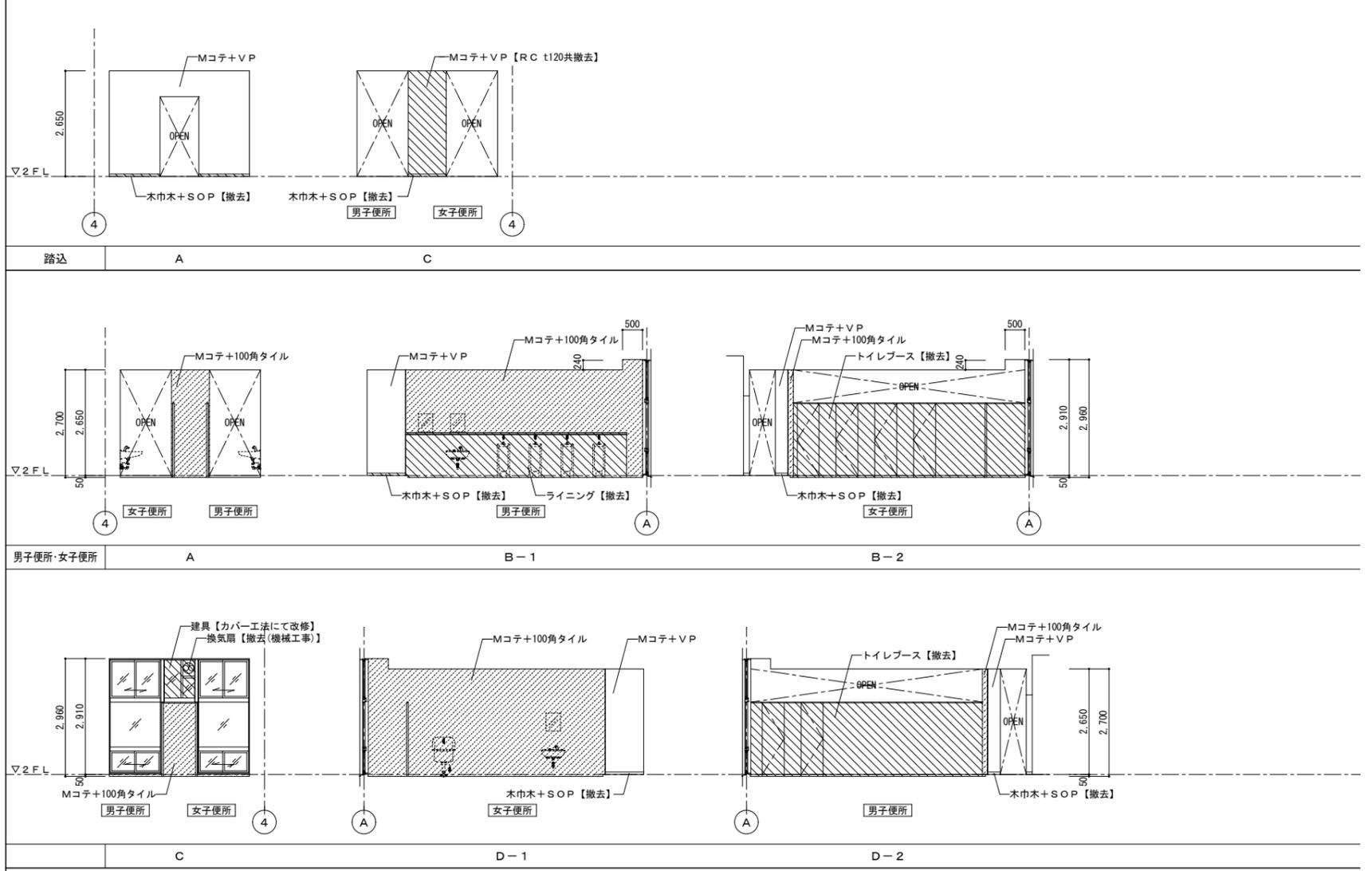
※浮き部補修：1㎡程度



■改修前凡例 ※特記なき限り下記とする。

[Pattern]	FS t=2.0【撤去】
[Pattern]	床タイル【撤去】
[Pattern]	既設壁RC t=120(鉄筋D10@250)【撤去】
[Pattern]	和便器撤去跡 床開口部補修 ※詳細図参照

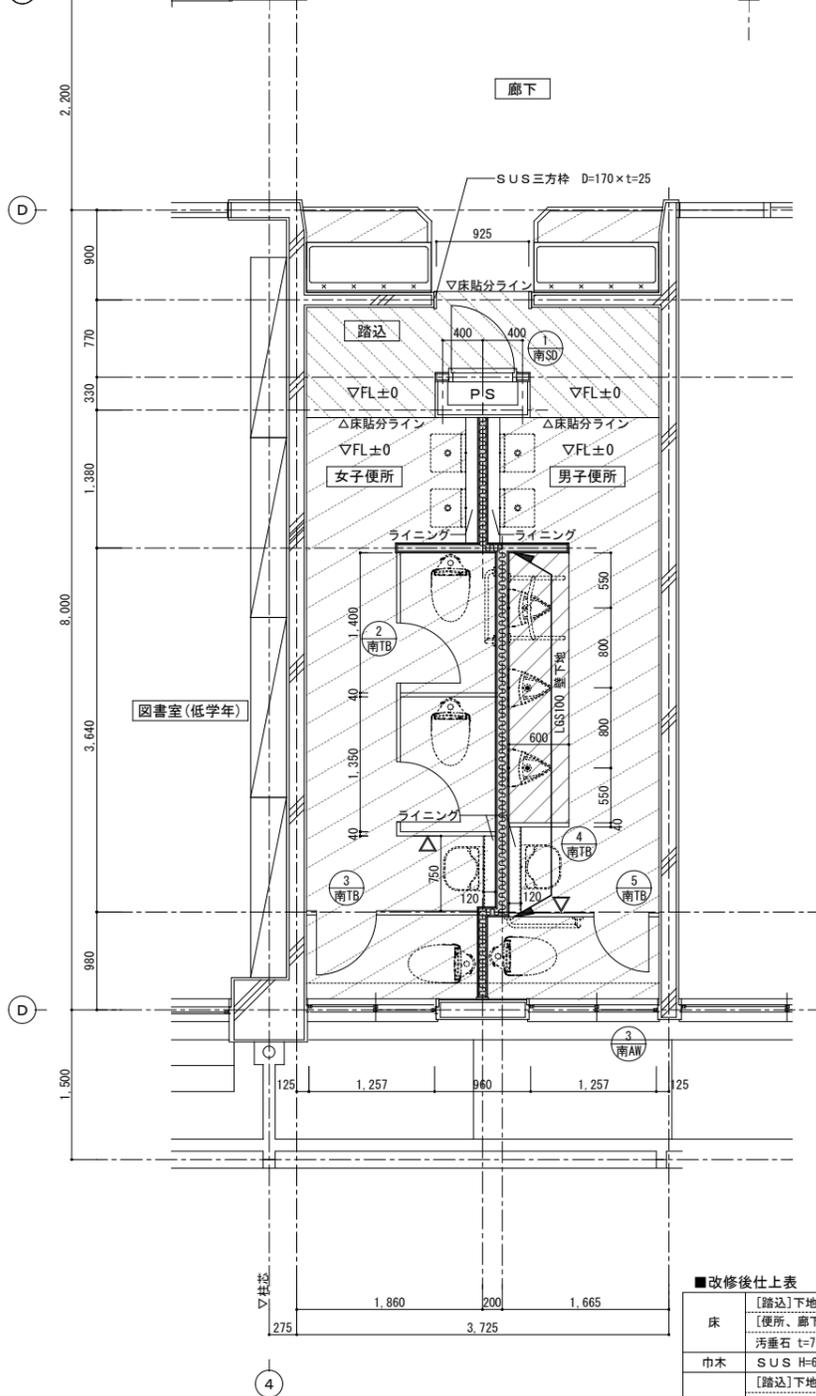
改修前 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

[Pattern]	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
[Pattern]	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。



改修後 平面詳細図 1/50

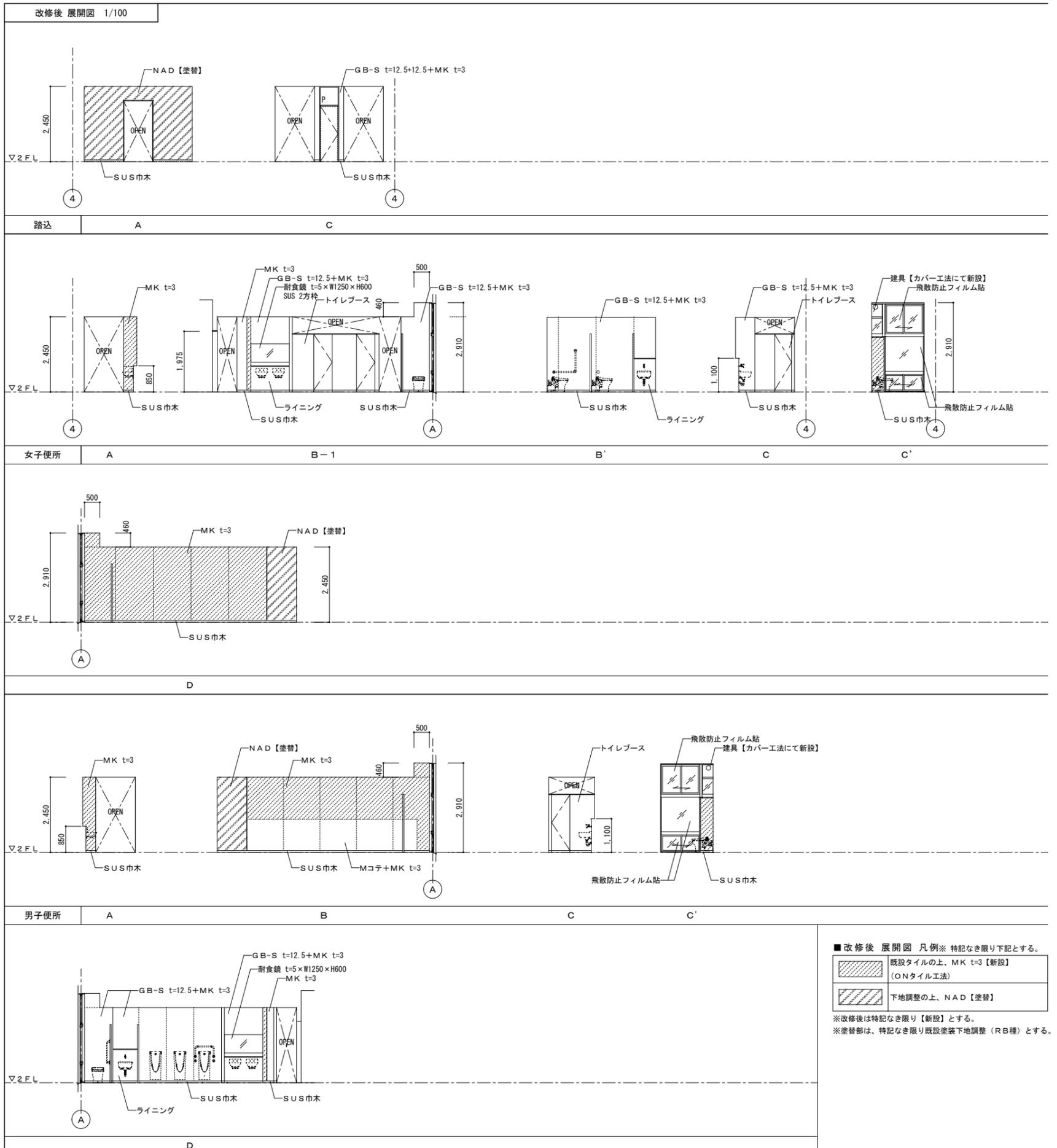
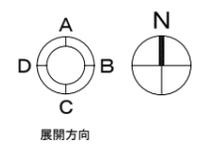
■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[踏込]下地調整の上、FS t=2.0【新設】 [便所、廊下]嵩上コンクリート下地 FS t=2.0【嵩上コン新設】 汚垂石 t=7【新設】
巾木	SUS H=60【新設】※雑詳細図参照
壁	[踏込]下地調整の上、NAD【塗替】 [便所]既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) [間仕切壁]LGS下地(男女便所間仕切りのみGW充填) GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【FK新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	FS t=2.0【塗替】
	FS t=2.0【新設】
	汚垂石 t=7【新設】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	GW t=50 24K【新設】
	新設木製掃除用具掛け下地
	ゴム集成材 SOP W=600xH=100xt=20
	建具【新設】

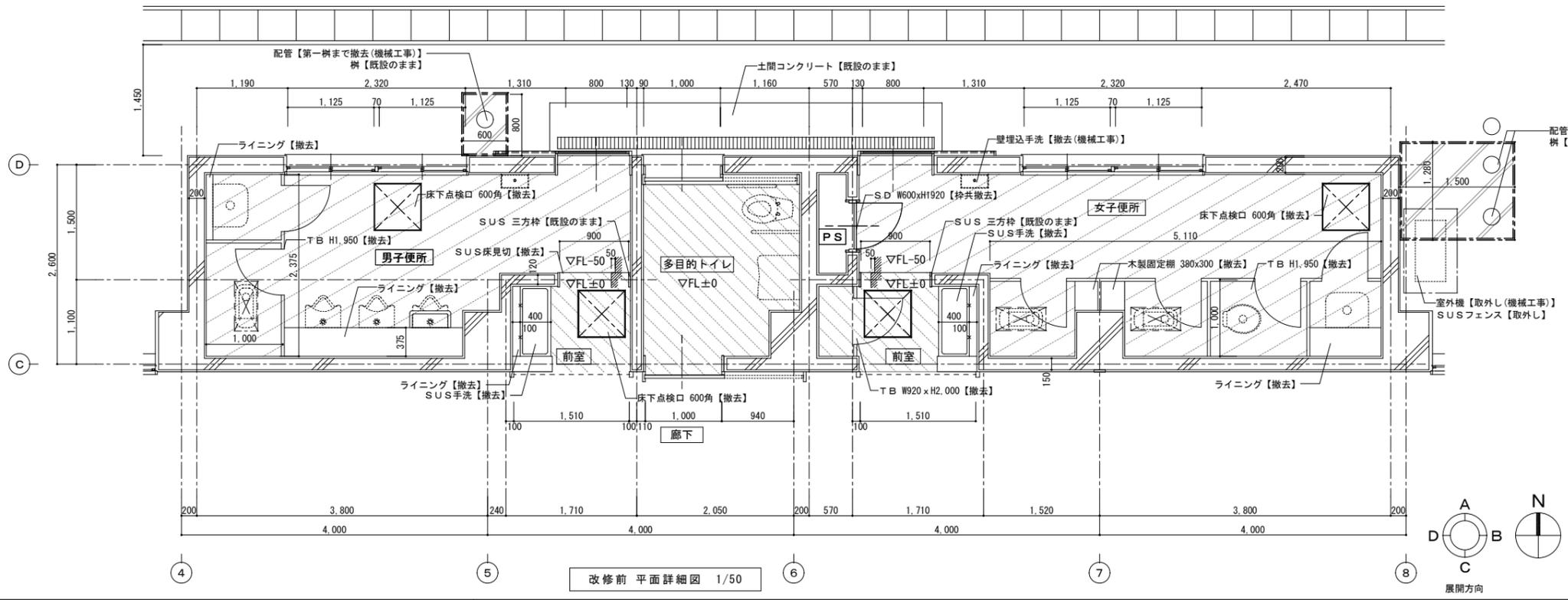
※改修後は特記なき限り【新設】とする。



■改修後 展開図 凡例 ※ 特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。  
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種)とする。



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[前室]Mコテ下地 FS t=2.0【FS撤去】 [便所]Mコテ下地 50角タイル貼【タイル撤去】
巾木	[前室]木製巾木 SOP H=100 [便所]Mコテ下地 100角タイル
壁	[前室]Mコテ下地 吹付塗装 [便所]Mコテ下地 100角タイル
天井	[便所]LSG下地 FK t=6+AEP【LSG共撤去】 [前室]LSG下地 GB-D t=9.5【LSG共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

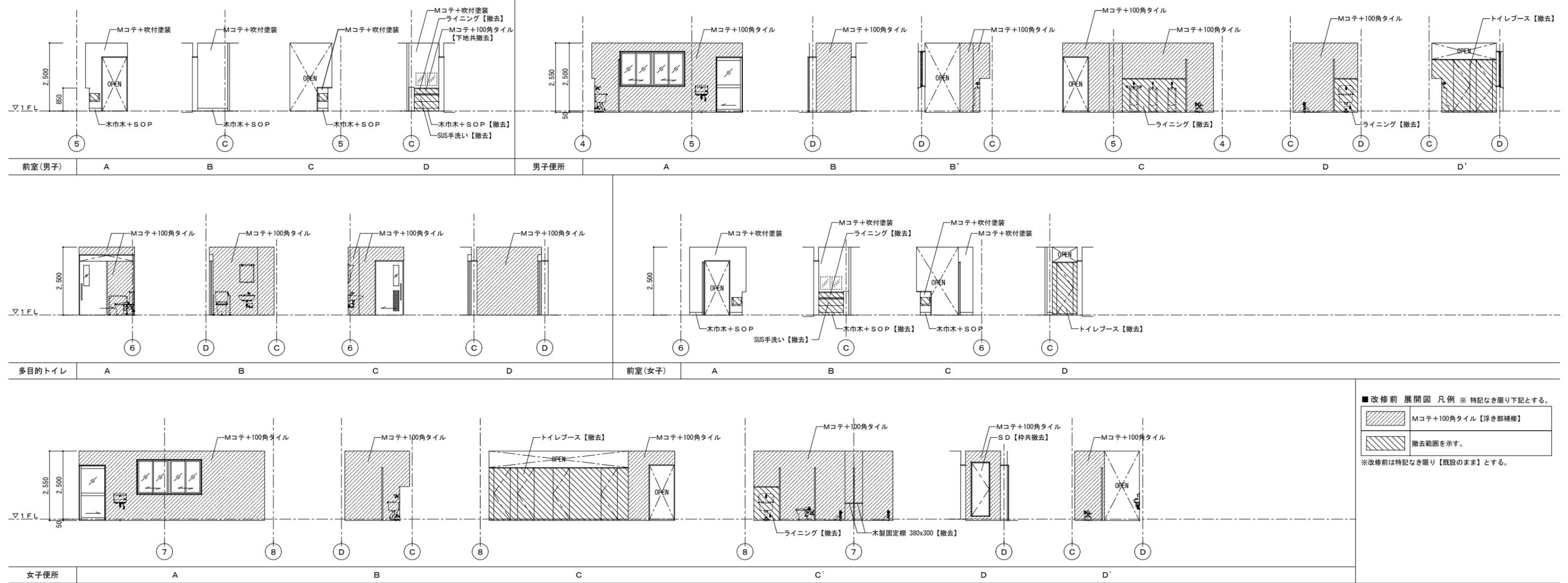
※浮き部補修: 1.2㎡程度

■改修前凡例

	FS【撤去】		汚染石【撤去】
	床タイル【撤去】		既設C B t=100下地壁【撤去】
	和便器撤去跡床開口部補修 ※詳細図参照		
	外部工事範囲		
	砕石 t=150+AS t=50【撤去】		

改修前 平面詳細図 1/50

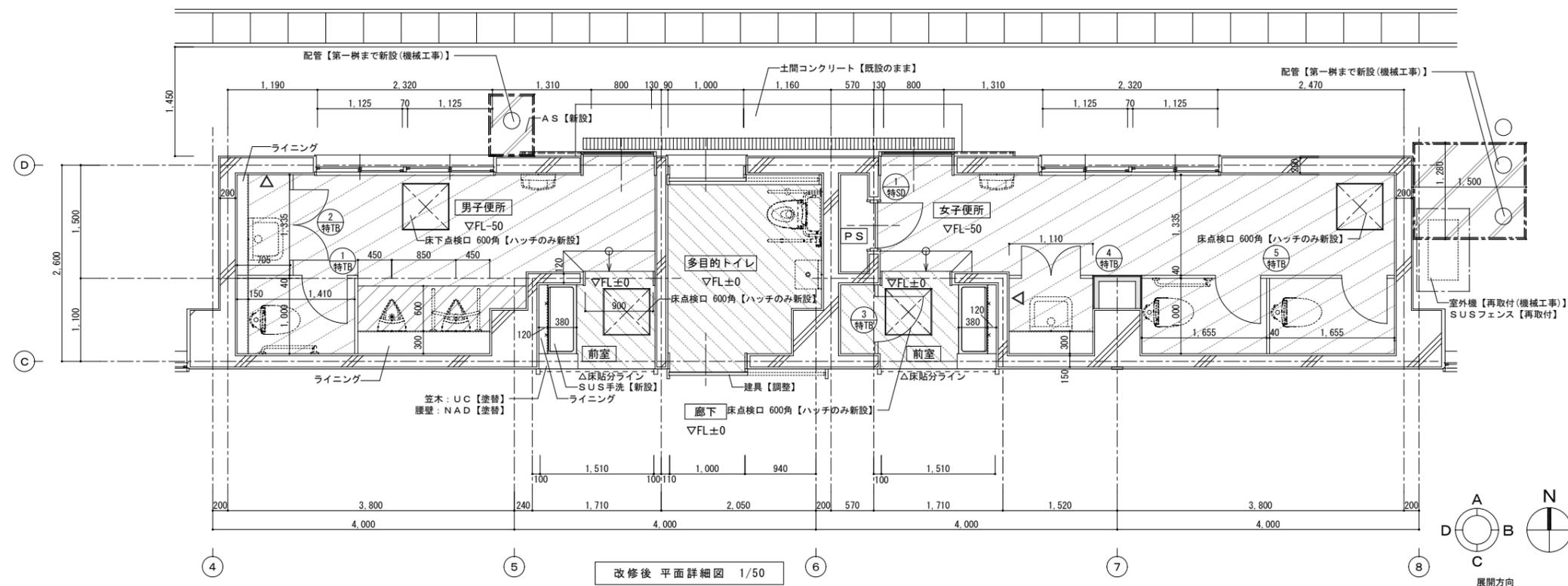
改修前 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。



改修後 平面詳細図 1/50

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

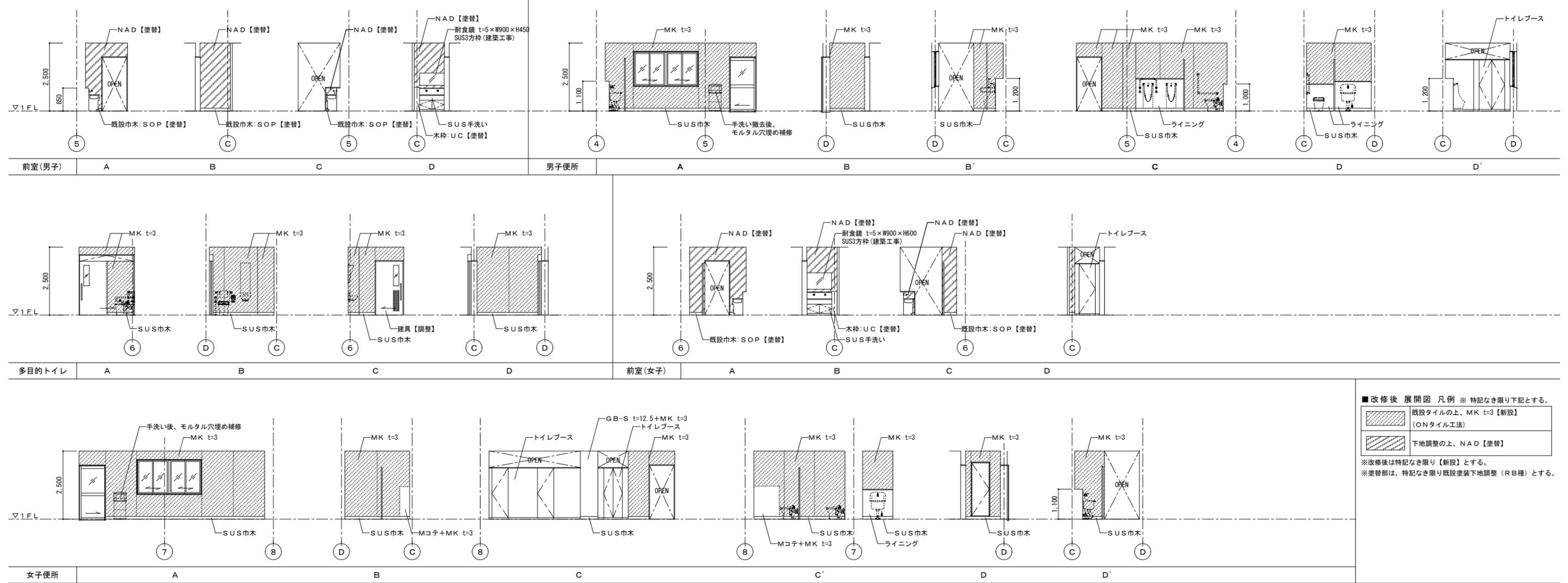
床	[前室]下地調整の上、FS t=2.0【FS新設】 [便所]嵩上コンクリート下地 FS t=2.0【嵩上コン新設】
巾木	汚垂石 t=7【新設】 [前室]下地調整の上、SOP H=100【塗替】 [便所]SUS H=100【新設】※補詳細参照
壁	[前室]下地調整の上、NAD【塗替】 [便所]既設100角タイルの上、MK t=3【新設】(ONタイル工法) [間仕切壁新設]LGS下地 GB-S t=12.5+MK t=3【LGS共新設】
天井	LGS下地 FK t=6+NAD【LGS共新設】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】 鏡【新設】

■改修後凡例

	FS t=2.0【強替】
	FS t=2.0【新設】
	汚垂石 t=7【新設】
	間仕切壁【新設】 ※特記なき限りスタッドは6.5型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	木製掃除用具掛け下地【新設】 ゴム集成材 SOP W=600xH=100xT=20
	外部工事範囲
	砕石 t=150+AS t=50【新設】
	建具【新設】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

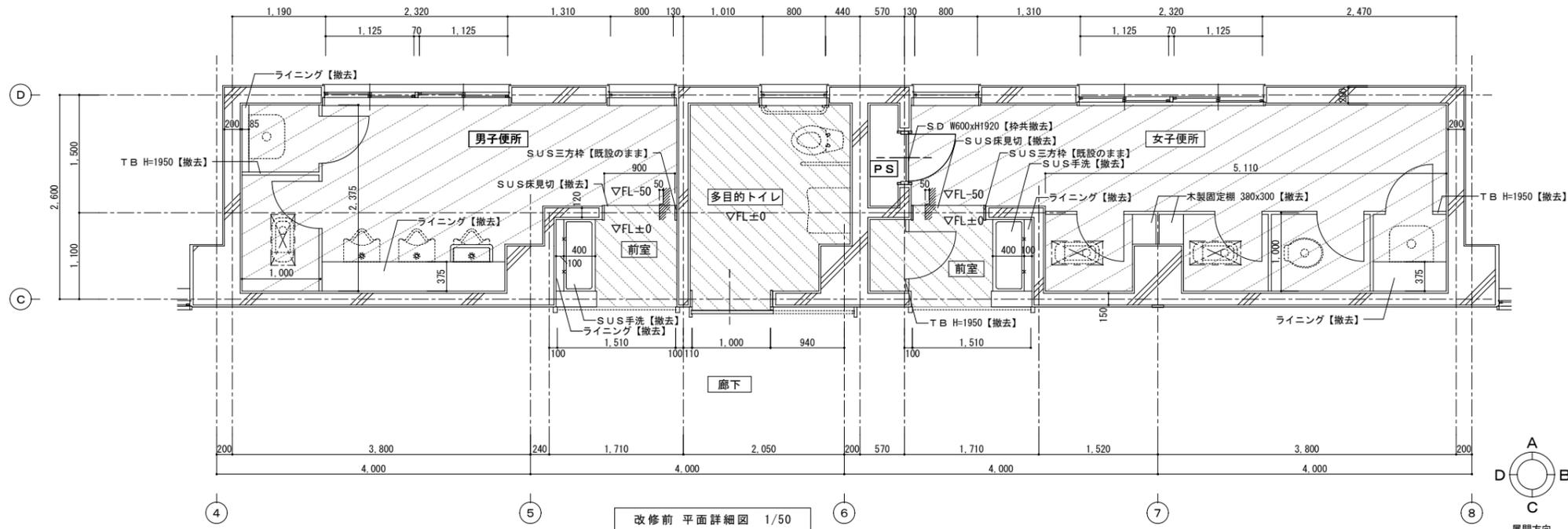
改修後 展開図 1/100



■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3【新設】 (ONタイル工法)
	下地調整の上、NAD【塗替】

※改修後は特記なき限り【新設】とする。  
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整(RB種)とする。



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[前室]Mコテ下地 F S t=2.0【FS撤去】 [便所]Mコテ下地 50角タイル貼【タイル撤去】
巾木	[前室]木製巾木 SOP H=100 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
壁	[前室]Mコテ下地 吹付塗装 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部補修】
天井	[便所]LSG下地 FK t=6+AEP【LSG共撤去】 [前室]LSG下地 GB-D t=9.5【LSG共撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

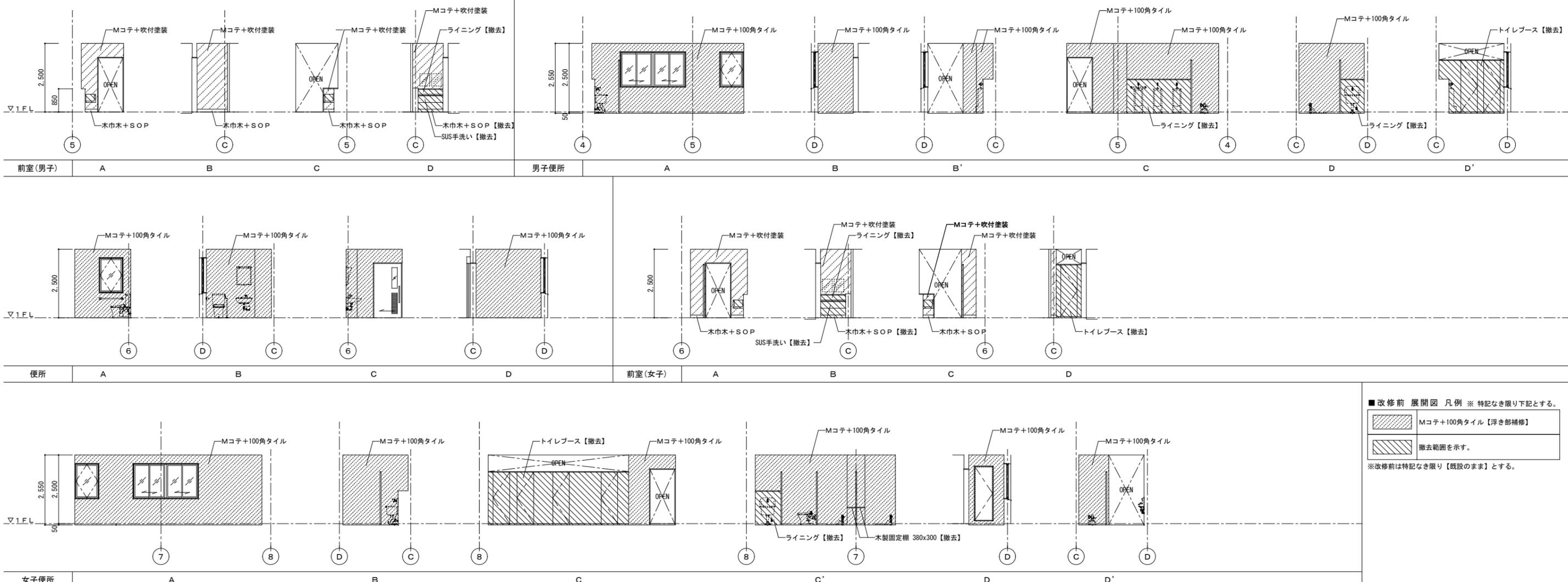
※浮き部補修: 1.2m程度

■改修前凡例

	FS【撤去】		汚垂石【撤去】
	床タイル【撤去】		既設C B t=100下地壁【撤去】
	和便器撤去跡床開口部補修	※雑詳細図参照	

改修前 平面詳細図 1/50

改修前 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】
	撤去範囲を示す。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。